

令和8・9年度

受付 番号	種目番号	連絡先	委託担当 金沢水再生センター 電 話 773-3096
----------	------	-----	---------------------------------------

設 計 書

1 委 託 名 金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託

2 履 行 場 所 金沢水再生センターほか

3 履 行 期 間 ☒ 期間 令和8年4月1日 から 令和10年3月31日 まで
☐ 期限 契約締結の日から令和 年 月 日 まで

4 契 約 区 分 ☐ 確定契約 ☒ 概算契約

5 その他特約事項 なし

6 現 場 説 明 ☒ 不要
☐ 要

7 委 託 概 要 金沢水再生センター庁舎等の総合管理を、合理的かつ適切な方法により実施することで、庁舎の環境を常に最適な状態に保つとともに、安全性、快適性、機能性を長期にわたり維持するものである。

8 部 分 払 ☒ する (24回以内)

☐ しない

軽微な修繕等の支払いについては各年の3月にまとめて払うものとする。

業務内容	履行予定月	数 量	単 位	単 価	金 額
令和8年度 庁舎総合管理業務	6, 12月	2	回		
令和8年度 庁舎総合管理業務	7, 11月	2	回		
令和8年度 庁舎総合管理業務	9月	1	回		
令和8年度 庁舎総合管理業務	3月	(1)	回		()
令和8年度 庁舎総合管理業務	4, 5, 8, 10, 1, 2月	6	回		
令和9年度 庁舎総合管理業務	6, 12月	2	回		
令和9年度 庁舎総合管理業務	7, 11月	2	回		
令和9年度 庁舎総合管理業務	9月	1	回		
令和9年度 庁舎総合管理業務	3月	(1)	回		()
令和9年度 庁舎総合管理業務	4, 5, 8, 10, 1, 2月	6	回		

委 託 代 金 額 () . —

内 訳 業 務 価 格 () . —

消費税及び地方消費税相当額 () . —

委 託 内 訳 書

名 称	形 状 寸 法 等	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
令和8年度 庁舎総合管理業務		(1)	式		()	第1号内訳書のとおり
令和9年度 庁舎総合管理業務		(1)	式		()	第2号内訳書のとおり
業 務 価 格					()	
消費税及び 地方消費税相当額		(1)	式		()	
委 託 代 金 額					()	

委 託 内 訳 書

第 1 号内訳書 令和 8 年度 庁舎総合管理業務						
名 称	形 状 寸 法 等	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
建物総合管理業務		(1)	式		()	第 1 号代価内訳書のと おり
庁舎清掃業務		1	式			第 2 号代価内訳書のと おり
エレベータ設備保守点 検業務		1	式			第 3 号代価内訳書のと おり
防災設備保守点検業務		1	式			第 4 号代価内訳書のと おり
空調設備保守点検業務		1	式			第 5 号代価内訳書のと おり
飲料水用受水槽点検清 掃業務		1	式			第 6 号代価内訳書のと おり
レジオネラ属菌水質検 査業務		1	式			第 7 号代価内訳書のと おり
計					()	(令和 8 年度 庁舎総合管理業務)

委 託 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

第 2 号代価内訳書 庁舎清掃業務						
名 称	形 状 寸 法 等	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
直接業務費						
日常清掃		12	月			
定期清掃 1		4	回			
定期清掃 2		2	回			
電気機械室定期 清掃		1	回			
窓ガラス清掃 1 (建物内部)		2	回			
窓ガラス清掃 2 (建物内部)		1	回			
窓ガラス清掃 2 (建物外部)		2	回			
窓ガラス清掃 2 (建物外部)		1	回			
小計						
直接物品費		1	式			
計 庁舎清掃業務						(直接業務費)
業務管理費 庁舎清掃業務		1	式			
合計						(直接業務費+業務管理費)
一般管理費等		1	式			
計						(庁舎清掃業務)

代 価 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

第 4 号代価内訳書 防災設備保守点検業務						
名 称	形 状 寸 法 等	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(前期業務)						
直接人件費		1	式			
小計（直接人件費）						
直接物品費		1	式			
小計（直接物品費）						
直接業務費						
業務管理費						
業務原価						
一般管理費						
業務価格（前期業務）						
(後期業務)						
直接人件費		1	式			
見積による直接人件費		1	式			
小計（直接人件費）						
直接物品費		1	式			
見積による直接物品費		1	式			
小計（直接物品費）						
直接業務費						
業務管理費						

代 価 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

第 5 号代価内訳書 空調設備保守点検業務								
名 称	形 状 寸 法 等	数 量	単 位	単 価 (円)		金 額 (円)		摘 要
空調設備リモートコン デンサ型室内機	冷房能力11.2kW以 上33.5kW未満	1	台					
空調設備リモートコン デンサ型室内機	冷房能力33.5kW以 上56.0kW未満	3	台					
空調設備リモートコン デンサ型室内機	冷房能力56.0kW以 上	1	台					
空調設備リモートコン デンサ型室外機		9	台					
空調設備セパレート型 室内機	天井カセット型	14	台					
空調設備セパレート型 室内機	床置型	22	台					
空調設備セパレート型 室外機	冷房能力33.5kW以 上56.0kW未満	2	台					
空調設備セパレート型 室外機	冷房能力56.0kW以 上	19	台					
点検管理費		1	式					
小計（直接業務費）								
直接経費		1	式					
技術経費		1	式					
間接業務費		1	式					
業務原価								
諸経費		1	式					
計								(空調設備保守点検業 務)

代 価 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

第 9 号代価内訳書 庁舎清掃業務						
名 称	形 状 寸 法 等	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
直接業務費						
日常清掃		12	月			
定期清掃 1		4	回			
定期清掃 2		2	回			
電気機械室定期 清掃		1	回			
窓ガラス清掃 1 (建物内部)		2	回			
窓ガラス清掃 2 (建物内部)		1	回			
窓ガラス清掃 2 (建物外部)		2	回			
窓ガラス清掃 2 (建物外部)		1	回			
小計						
直接物品費		1	式			
計 庁舎清掃業務						(直接業務費)
業務管理費 庁舎清掃業務		1	式			
合計						(直接業務費+業務管理費)
一般管理費等		1	式			
計						(庁舎清掃業務)

代 価 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

第11号代価内訳書 防災設備保守点検業務						
名 称	形 状 寸 法 等	数 量	単 位	単 価 (円)	金 額 (円)	摘 要
(前期業務)						
直接人件費		1	式			
小計（直接人件費）						
直接物品費		1	式			
小計（直接物品費）						
直接業務費						
業務管理費						
業務原価						
一般管理費						
業務価格（前期業務）						
(後期業務)						
直接人件費		1	式			
見積による直接人件費		1	式			
小計（直接人件費）						
直接物品費		1	式			
見積による直接物品費		1	式			
小計（直接物品費）						
直接業務費						
業務管理費						

代 価 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

[illegible]

代 価 内 訳 書

[illegible]

委 託 仕 様 書

第 1 章 総則

(総則)

第 1 条 委託者が受託者に委託する業務（以下「委託業務」という。）については、委託契約書等に定めるもののほか、本仕様書に従い、委託業務履行に際し関係する法令を遵守して、これを履行しなければならない。

第 2 章 共通仕様

(提出書類)

第 2 条 受託者は、遅滞なく次の書類を作成し、委託者の指定する職員（以下「立会職員」という。）に提出しなければならない。

提 出 書 類	提 出 期 限	部 数
(1) 委託業務着手届出書	契約締結後 5 日以内 (休日を除く)	各 1 部
(2) 委託代金内訳書		
(3) 工程表		
(4) 現場責任者・業務従事者選定通知書		
(5) 委託組織表		

2 受託者は、委託者の関係職員と委託業務について打合せを行った後、次の書類を作成し、立会職員に提出しなければならない。

提 出 書 類	提 出 期 限	部 数
(1) 打合せ議事録（A 4 版）	打合せ後遅滞なく	各 1 部
(2) 業務実施計画書（A 4 版）		

3 受託者は、業務委託履行中次の書類を作成し、立会職員に提出しなければならない。

提 出 書 類	提 出 期 限	部 数
(1) 委託業務日報（A 4 版）	毎日作業終了後	1 部
(2) 委託業務写真（必要に応じて） サービス判、カラー写真でアルバムとじ 込み（ネガフィルム又は電子媒体を含む。）	完了検査前	各 1 部
(3) 成果報告書		

(使用許可申請書)

第 3 条 受託者は、業務委託の実施に当たり、火気、電気等を使用する場合は事前に使用許可申請書を立会職員に提出し、委託者の同意を受けなければならない。ただし、委託者が必要でないと認めた場合は、この限りではない。

(検査)

第 4 条 受託者は、委託業務が完了したとき（履行済み部分に係る委託業務完了を含む。）は、次の書類を立会職員に提出し、委託者が指定する検査員の検査を受けなければならない。

提出書類	提出期限	部数
委託完了届出書	委託業務完了のとき	1部
履行済部分に係る委託完了届出書	履行済み部分に係る委託業務完了のとき	1部

(支払)

第5条 受託者は、前条の検査に合格したときは、次の書類を立会職員に提出し、委託代金の支払を請求するものとする。

提出書類	提出期限	部数
請求書	完了検査合格後	1部
	履行済み部分の検査合格後	1部

(労働安全衛生)

第6条 受託者は、安全衛生管理に努め、別に定める横浜市「水再生センター及び汚泥資源化センター工事等安全衛生基準」（以下「安全衛生基準」という）に掲げる事項を周知徹底しなければならない。

なお、「安全衛生基準」は、次の横浜市ウェブページを参照すること。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/youshiki/>

(個人情報保護)

第7条 受託者は、この契約に基づき個人情報を取り扱う事務を行う場合には、その取り扱いについて、横浜市個人情報の保護に関する条例に基づく「個人情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

2 受託者は、本件事務に係る個人情報の取扱いに着手する前に「個人情報取扱特記事項」第2条の4に則り、管理責任体制、安全対策その他の安全管理措置について、安全管理措置報告書（第1号様式）により報告しなければならない。また、「個人情報取扱特記事項」第10条による研修を実施し、研修実施報告書・誓約書（第2号様式）を提出しなければならない。

なお、「個人情報取扱特記事項」は、次の横浜市ウェブページを参照すること。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/youshiki/>

(電子計算機処理等の契約に関する情報取扱事項)

第8条 受託者は、電子計算機処理等の事務を行う場合には、「電子計算機処理等の契約に関する情報取扱特記事項」を遵守しなければならない。

なお、「電子計算機処理等の契約に関する情報取扱特記事項」は、次の横浜市ウェブページを参照すること。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/business/nyusatsu/youshiki/>

(業務遂行時に発生する副産物の処分)

第9条 受託者は、業務の遂行に伴い発生する副産物（交換部品等）を委託者の指定場所に置くこと。

(横浜市グリーン購入の推進に関する事項)

第10条 受託者は、業務の遂行にあたり、「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」に記された内容を十分に理解し、これを推進すること。

なお、「横浜市グリーン購入の推進に関する基本方針」及び、(別記)「特定調達物品等」は、次の横浜市ウェブページを参照のこと。

<https://www.city.yokohama.lg.jp/kurashi/machizukuri-kankyo/ondanka/etc/shiyakusho/green.html>

業務共通仕様書

(目的)

第1条

本業務は、金沢水再生センター等庁舎の総合管理を、合理的かつ適切な方法により実施することで、庁舎の環境を常に最適な状態に保つとともに、安全性、快適性、機能性を長期にわたり維持することを目的とする。

(履行期間)

第2条

業務委託期間

令和8年4月1日から令和10年3月31日まで

(施設概要)

第3条

施設名称	所在地
金沢水再生センター	金沢区幸浦一丁目17番地
金沢ポンプ場	金沢区海の公園8番地
六浦ポンプ場	金沢区六浦四丁目5番15号

(建物管理における用語の定義)

第4条

- (1) 「保全」とは、点検や保守等により建築物や設備の安全を確保することをいう。
- (2) 「個別業務」とは、仕様書に定める対象業務をいう。
- (3) 「点検」とは、建築物等の部分について、損傷、変形、腐食、異臭、異音、温度異常、その他の異常の有無を調査することをいい、保守又はその他の措置が必要か否かの判断を行うことをいう。
- (4) 「定期点検」とは、当該点検を実施するために必要な資格又は特別な専門的知識を有する者が定期的に行う点検をいい、性能点検、月例点検を含めていう。
- (5) 「法定点検」とは、建築物の保全の関係法令に基づき実施することが規定されている点検をいう。
- (6) 「保守」とは、点検の結果に基づき建築物等の機能の回復又は危険の防止のために行う消耗部品の取替え、注油、塗装その他これらに類する軽微な作業をいう。

(建物管理者に関する用語の定義)

第5条

- (1) 「総合管理責任者」とは、本委託を総合して管理を行う責任者であり、特記仕様書1の責任者をいう。
- (2) 「業務責任者」とは、総合管理責任者の下で業務を行うものであり、特記仕様書2～7の責任者をいう。

(業務内容)

第6条

基本的な業務の内容は次のとおりとし、詳細は各業務の仕様書を参照すること。

なお、履行予定月は、別表1のとおりとする。

- | | |
|-------------------|----------|
| (1) 建物総合管理業務 | (特記仕様書1) |
| (2) 庁舎清掃業務 | (特記仕様書2) |
| (3) エレベータ設備保守点検業務 | (特記仕様書3) |
| (4) 防災設備保守点検業務 | (特記仕様書4) |
| (5) 空調設備保守点検業務 | (特記仕様書5) |
| (6) 飲料水用受水槽点検清掃業務 | (特記仕様書6) |
| (7) レジオネラ属菌水質検査業務 | (特記仕様書7) |

(法令、基準類等の遵守)

第7条

本業務の実施に当たっては、各業務の内容に応じて関連する関係法令、条例、規則、要綱のほか標準仕様書、マニュアル、基準、指針、解説版、ガイドラインなどを遵守すること。

関係法令、各種基準などについては、受託者の責任において調査し、各々の許認可などの手続き上設定される基準日に、最新のものを採用すること。

(共通事項)

第8条

(1) 体制

ア 業務体制

本業務を実施するうえで、各業務内容について委託者が求める期間内で履行が完了できる体制を構築するとともに、各業務内容に適した経験者を配置・従事させ、履行品質の維持・確保に努めること。

なお、委託契約約款第6条に基づき、全部又は主たる部分(総合管理業務)を除いて、一部を第三者に委任託(以下「再委託」という。)する場合は、あらかじめ再委託に関して本市の承諾を得てから履行すること。

なお、再委託先については、「横浜市中心小企業振興基本条例」の趣旨に基づき、市内中小企業者の受注機会の確保に努めること。

イ 連絡体制

緊急時における連絡網を委託者に提出すること。

本委託では常駐は求めない(常駐することも妨げない)。受託者は、総合管理責任者を選任し、委託者に届け出ること。総合管理責任者は平日9:00~17:00の間、常に委託者と連絡・調整が可能な状態とする。

ウ 安全衛生管理体制

受託者は、本委託契約の履行に伴う業務に関して、安全衛生管理に努め、本業務の履行に関する全ての担当者に周知徹底させなければならない。また、本委託履行のために入場するものに対し、危険箇所の通知や安全指導を行い、適切に管理する。

(2) 業務の実施

ア 委託者の立会い

受託者は作業等に際して委託者の立会いを求める場合は事前に申し出ること。

イ 書類の保管

受託者は、本業務において作成し、及び保有する資料並びに市から貸与を受けた資料を常に整理し、委託者の求めに応じて提供できるよう保管すること。

(3) 業務の検査等

ア 受託者は、部分払いを請求しようとするとき、又は業務が完了した時は、その旨を委託者に通知し、検査を受けなければならない。

イ 受託者は、検査を受ける際は予め下記の資料を整備し委託者に提出しなければならない。

(ア) 契約図書（委託契約書、仕様書等）

(イ) 業務計画書、作業計画書、作業報告書、業務報告書

(ウ) 成果物、打合せ記録、その他検査に必要な資料

履行予定月

別表 1

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
(1) 建物総合管理業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(2) 庁舎清掃業務 日常清掃	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
定期清掃 1			○			○			○			○
定期清掃 2						○						○
電気機械室定期清掃						○						
窓ガラス清掃 1（建物内部）						○						○
窓ガラス清掃 2（建物内部）						○						
窓ガラス清掃 1（建物外部）						○						○
窓ガラス清掃 2（建物外部）						○						
(3) エレベータ設備保守点検業務	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
(4) 防災設備保守点検業務						○						○
(5) 空調設備保守点検業務（令和 8 年度のみ）						○						
(6) 飲料水受水槽点検業務												○
(7) レジオネラ属菌水質検査業務				○				○				○

建物総合管理業務

(全体管理)

第1条

(1) 業務全般における委託者との連携

業務全般における委託者への報告・連絡・調整、定例会議の主催及び出席、議事録の作成

(2) 関係法令の情報収集及び法改正への対応

関係法令の改正に関する情報収集及び委託者の法改正への対応に対する支援

※ 建築物における衛生的環境の確保に関する法律だけにとどまらず、建築基準法や消防法、廃棄物の処理や環境配慮、バリアフリー関連など本委託契約に関わるものをすべて含む。

(3) 総合管理責任者の主な業務

各業務責任者への指示・取りまとめ・指導を行い、適正に各業務が履行されるよう対応すること。

ア 各業務の計画立案、報告には総合管理責任者が立ち会うこと。

イ 各業務において、日常的なものを除く点検や作業等に原則総合管理責任者が立ち会うこと。立ち会った場合は実施確認、口頭及び日報による報告を行うこと（立会い時間、内容、結果等）

(4) 昇降設備点検業務

昇降設備（エレベータ）点検業務は特記仕様書3に記載の製造業者（当該昇降装置設備の保守点検実績のある業者を含む）が点検実施すること。

(5) 各種書類の作成

受託者は各仕様書に定める提出物のほか、下表の書類を委託者に提出すること。本仕様書に定めない書類についても、委託者からの指示があった場合は作成し、提出すること。

ア 計画書

No	提出書類	内容	提出時期
1	総合管理業務計画書	業務実施体制、実施方針、業務計画及び各業務の報告書式等、業務全般について具体的に記載したもの	業務開始前・内容変更時
2	作業計画書	上記計画書に基づき、業務別に実施日時、作業内容、作業範囲、業務従事者名等を記載したもの	業務開始前・内容変更時
3	年間予定表	業務別に、年間の作業実施計画を記載したもの	年度開始前・内容変更時
4	月間予定表	業務別に、月間の作業実施計画を記載したもの	毎月末までに翌月分を提出

イ 報告書

No	提出書類	内容	提出時期
1	総合管理業務報告書 ※月次及び年次	業務全体の実施状況、計画に対する進捗状況を記載したもの	月次：月末 年次：各年度の3月末
2	随時報告書	修繕等の対応内容を記載したもの	随時

(軽微な修繕等の実施)

第2条

- (1) 受託者は、防災設備保守点検業務、空調設備保守点検業務等において点検結果により必要となった軽微な修繕、または突発的に発生する緊急対応等を実施すること。
実施内容及び結果について委託者に報告する。
- (2) 本業務は、受託者が材料等を手配し主体的に行うことを原則とするが、特殊な部品の調達や専門的知識等を要する場合は外注も可能とする。外注により軽微な修繕を実施する場合、受託者の責任において業者を指導監督し、修繕等を実施する。
- (3) 年間総額は300万円相当（税抜き）とする。年度開始前に1年間の修繕・予定項目と予算を計画し、緊急対応として費用が必要となった際には協議して執行項目を決定する。

庁舎清掃業務

(履行場所)

第1条 本業務の履行場所は、次のとおりである。

- (1) 金沢水再生センター
- (2) 金沢ポンプ場
- (3) 六浦ポンプ場

(業務内容)

第2条 本業務の清掃場所・作業内容・清掃周期・面積等は次のとおりである。ただし、作業内容・清掃周期の詳細は別表「作業内容等詳細」のとおりとする。

1 建物内部の清掃

(1) 床の日常清掃（金沢水再生センターのみ）

清掃場所	形状等	作業内容	清掃周期	清掃面積
玄関ホール	硬質床	除塵及び部分水拭き	毎日	7.68m ²
センター長室	弾性床	除塵及び部分水拭き	毎日	31.68m ²
事務室	弾性床	除塵及び部分水拭き	毎日	347.71m ²
水質事務室	弾性床	除塵及び部分水拭き	毎日	74.91m ²
会議室	弾性床	除塵及び部分水拭き	毎日	54.80m ²
廊下	弾性床	除塵及び部分水拭き	毎日	479.81m ²
更衣室	弾性床	除塵及び部分水拭き	毎日	45.02m ²
詰所	弾性床	除塵及び部分水拭き	毎日	48.70m ²
便所	弾性床	除塵及び全面水拭き	毎日	49.59m ²
湯沸室	弾性床	除塵及び全面水拭き	毎日	19.44m ²
エレベータ	弾性床	除塵及び部分水拭き	毎日	1台
階段	弾性床	除塵及び部分水拭き	毎日	17.60m ²

(2) 床以外の日常清掃（金沢水再生センターのみ）

清掃場所	作業内容	清掃周期
玄関ホール	フロアマット除塵、扉ガラス部分拭き、什器品備品除塵、ごみ収集及び金属部分除塵	毎日
センター長室	ごみ収集	毎日
事務室	ごみ収集	毎日
水質事務室	ごみ収集	毎日
廊下	ごみ収集	毎日
便所	ごみ収集、扉・便所面台へだて部分拭き、洗面台・水栓拭き、鏡拭き、衛生器具洗浄、衛生消耗品補充及び汚物収集	毎日
湯沸室	流し台洗浄及び厨茶収集	毎日
エレベータ	壁・扉・操作盤部分拭き及び扉溝除塵	毎日
階段	手すり拭き	毎日

※ごみ搬出、分別及び梱包等処理を含む。

(3) 床の定期清掃 1

ア 金沢水再生センター

清掃場所	形状等	作業内容	清掃周期	清掃面積
展示室	弾性床	表面洗浄	3 か月	160.00m ²
廊下	弾性床	表面洗浄	3 か月	583.97m ²
階段	弾性床	表面洗浄	3 か月	186.74m ²

イ 金沢ポンプ場

清掃場所	形状等	作業内容	清掃周期	清掃面積
廊下	弾性床	表面洗浄	3 か月	27.00m ²
階段	弾性床	表面洗浄	3 か月	136.45m ²
便所	硬質床	一般床洗浄	3 か月	10.24m ²

ウ 六浦ポンプ場

清掃場所	形状等	作業内容	清掃周期	清掃面積
玄関ホール	硬質床	一般床洗浄	3 か月	28.65m ²
便所	硬質床	一般床洗浄	3 か月	9.03m ²
階段	硬質床	一般床洗浄	3 か月	6.80m ²

※ ごみ搬出、分別及び梱包等処理を含む。

(4) 床の定期清掃 2

ア 金沢水再生センター

清掃場所	形状等	作業内容	清掃周期	清掃面積
センター長室	弾性床	表面洗浄	6 か月	31.68m ²
事務室	弾性床	表面洗浄	6 か月	375.43m ²
水質事務室	弾性床	表面洗浄	6 か月	74.91m ²
会議室	弾性床	表面洗浄	6 か月	54.80m ²
廊下	弾性床又は硬質床	表面洗浄又は一般床洗浄	6 か月	40.32m ²
更衣室	弾性床	表面洗浄	6 か月	45.02m ²
詰所	弾性床	表面洗浄	6 か月	48.70m ²
水質試験室	弾性床	表面洗浄	6 か月	240.80m ²
中央操作室	フリーアクセスフロア	表面洗浄	6 か月	433.00m ²
便所	弾性床	表面洗浄	6 か月	49.59m ²
湯沸室	弾性床	表面洗浄	6 か月	19.44m ²

イ 金沢ポンプ場

清掃場所	形状等	作業内容	清掃周期	清掃面積
事務室	弾性床	表面洗浄	6 か月	67.80m ²

ウ 六浦ポンプ場

清掃場所	形状等	作業内容	清掃周期	清掃面積
詰所	弾性床	表面洗浄	6 か月	15.65m ²

※ ごみ搬出、分別及び梱包等処理を含む。

(5) 電気機械室定期清掃 (金沢水再生センター、金沢ポンプ場及び六浦ポンプ場)

清掃場所	形状等	作業内容	清掃周期	清掃面積
電気室	フリーアクセスフロア	表面洗浄	1 年	4, 302.00m ²
制御室	フリーアクセスフロア	表面洗浄	1 年	974.70m ²
機械室 (六浦ポンプ場)	硬質床	一般床洗浄	1 年	589.88m ²

※ ごみ搬出、分別及び梱包等処理を含む。

(6) 床以外の定期清掃

窓ガラス清掃 (金沢水再生センター、金沢ポンプ場)

清掃場所	作業内容	清掃周期	清掃面積
窓ガラス清掃 1 (内部)	窓ガラス、サッシの拭き	6 か月	593.00m ²
窓ガラス清掃 2 (内部)	窓ガラス、サッシの拭き	1 年	61.00m ²

2 建物外部の清掃

窓ガラス清掃 (金沢水再生センター、金沢ポンプ場)

清掃場所	作業内容	清掃周期	清掃面積
窓ガラス清掃 1	窓ガラス、サッシの拭き	6 か月	336.00m ²
窓ガラス清掃 2	窓ガラス、サッシの拭き	1 年	47.00m ²

(清掃作業の実施日及び時間)

第3条 本業務の清掃作業の実施日及び作業時間は、次のとおりである。

清掃種別	実施日	作業時間
日常清掃	毎日 (土曜、日曜、祝日、休庁日を除く)	別途協議
定期清掃	別途協議	別途協議
窓ガラス清掃	別途協議	別途協議

(注) 実施日及び作業時間については、委託者受託者協議により決定すること。

(一般事項)

第4条 清掃器材等は、作業の内容に最も適したものを用いるものとし、その使用にあたっては立会職員に申し出ること。

- 2 作業員が事務室等に立入り、作業を行う場合には、立会職員に申し出を行うこと。また、貸与した鍵は慎重に取扱い、業務を行うために必要な時間と場所に限り使用すること。
- 3 清掃作業に使用する器材等は、特に指定のない限り受託者が準備すること。
- 4 清掃作業を実施するにあたっては、常に火災等の事故が発生することのないように十分注意を払うこと。
- 5 清掃作業の実施により移動した椅子、その他の物品は必ず元の位置に戻しておくこと。

(支給品及び貸与品)

第5条 本業務で支給及び貸与する品目は、次のとおりである。

- (1) 水・電力
- (2) 補充用トイレトペーパー、補充用身体洗浄液
- (3) 日常清掃の作業員控室
- (4) そのほかセンター長が必要と認めるもの

(完了検査)

第6条 業務共通仕様書 第8条のとおり。

別表 作業内容等詳細

1 建物内部の清掃

(1) 床の清掃

ア 弾性床(ビニル床タイル、ビニル床シート、ゴム床タイル、フリーアクセスフロア等)

作業項目		作業内容
除塵	自在箒又はフロアダスターによる除塵	・自在箒、フロアダスター(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。
	真空掃除機による除塵	・真空掃除機で丁寧に吸塵する。
水拭き	部分水拭き	・汚れや水滴等が付着した部分をモップで拭く。
	全面水拭き	・床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
補修	空バフイング	・人通りの多い床面を、パッドを装着した床磨き機で研磨する。
	スプレーバフイング(スプレークリーニング)	・汚れた部分に、水又は専用補修液をスプレーし、パッドを装着した床磨き機で乾燥するまで研磨する。汚れが強い場合は、適正に希釈した表面洗浄用洗剤を用いる。 ・削りとられたかすを取り除き、スプレーバフイングを行った箇所をきれいに拭いた後、樹脂床維持材を塗布して補修する。
洗浄	表面洗浄	・椅子等軽微な什器の移動を行う。 ・床面の除塵を行う。(除塵の項参照) ・適正に希釈した表面洗浄用洗剤をモップでむらのないように塗布する。 ・洗浄用パッドを装着した床磨き機で皮膜表面の汚れを洗浄する。 ・吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。 ・2回以上全面水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後十分に乾燥させる。(水拭きの項参照) ・樹脂床維持材を塗り残しやむらのないように塗布し、十分に乾燥した後塗り重ねる。 ・樹脂床維持材の塗布回数は1回とし、皮膜の損傷が著しい場合は、さらに1回重ね塗りをする。 ・移動した椅子等什器を元の位置に戻す。

イ 硬質床(陶磁器質タイル、石、コンクリート、モルタル等)

作業項目		作業内容
除塵	自在箒又はダストクリーナーによる除塵	・自在箒、ダストクリーナー(ダストモップ)で丁寧に掃き、集めた塵芥は所定の場所に搬出する。
	真空掃除機による除塵	・真空掃除機で丁寧に吸塵する。
水拭き	部分水拭き	・汚れや水滴等が付着した部分をモップで拭く。
	全面水拭き	・床全面をモップで丁寧に拭きあげる。
補修	空バフイング	・人通りの多い床面を、パッドを装着した床磨き機で研磨する。

洗 浄	表面洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子等軽微な什器の移動を行う。 ・床面の除塵を行う。(除塵の項参照) ・適正に希釈した表面洗浄用洗剤をモップでむらのないように塗布する。 ・洗浄用パッドを装着した床磨き機で皮膜表面の汚れを洗浄する。 ・吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。 ・2回以上全面水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後十分に乾燥させる。(水拭きの項参照) ・樹脂床維持材を、塗り残しやむらのないように塗布し、十分に乾燥した後塗り重ねる。 ・樹脂床維持材の塗布回数は1回とし、皮膜の損傷が著しい場合は、さらに1回重ね塗りをする。 ・移動した椅子等什器を元の位置に戻す。
	一般洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・椅子等軽微な什器の移動を行う。 ・床面の除塵を行う。(除塵の項参照) ・適正に希釈した表面洗浄用洗剤をモップでむらのないように塗布する。 ・洗浄用パッド又は洗浄用ブラシを装着した床磨き機で汚れを洗浄する。 ・吸水用真空掃除機又は床用スクイジーで汚水を除去する。 ・2回以上全面水拭きを行って、汚水や洗剤分を完全に除去した後十分に乾燥させる。(水拭きの項参照) ・移動した椅子等什器を元の位置に戻す。

ウ 繊維床(カーペット、じゅうたん等)

作業項目		作業内容
除 塵	真空掃除機による除塵	・真空掃除機で丁寧に吸塵する。
	カーペットスリーパーによる除塵	・床表面の粗ごみをカーペットスリーパーで回収して除塵する。

(2) 場所別の清掃

ア 玄関ホール

作業対象		作業項目	作業内容
床 清 掃	弾性床	1-(1)床の清掃アによる。	
	硬質床	1-(1)床の清掃イによる。	
床 以 外 の 清 掃	フロアマット	除塵	・真空掃除機で吸塵する。
	扉ガラス	部分拭き	・汚れの目立つ部分をタオルで水拭き又は空拭きする。
	什器備品	除塵	・タオル、ダストクロス等で埃を取る。
	ごみ箱	ごみ収集	・ごみを収集し、容器を拭く。
	金属部分	除塵	・タオル、ダストクロス等で埃を取る。

イ センター長室・事務室・水質事務室

作業対象		作業項目	作業内容
床清掃	弾性床	1－(1)床の清掃アによる。	
	繊維床	1－(1)床の清掃ウによる。	
床以外の清掃	ごみ箱	ごみ収集	・ごみを収集し、容器を拭く。

ウ 会議室・詰所・展示室・更衣室・水質試験室

作業対象		作業項目	作業内容
床清掃	弾性床	1－(1)床の清掃アによる。	
	硬質床	1－(1)床の清掃イによる。	
	繊維床	1－(1)床の清掃ウによる。	

エ 廊下

作業対象		作業項目	作業内容
床清掃	弾性床	1－(1)床の清掃アによる。	
	硬質床	1－(1)床の清掃イによる。	
	繊維床	1－(1)床の清掃ウによる。	
床以外の清掃	ごみ箱	ごみ収集	・ごみを収集し、容器を拭く。

オ 便所

作業対象		作業項目	作業内容
床清掃	弾性床	1－(1)床の清掃アによる。	
	硬質床	1－(1)床の清掃イによる。	
床以外の清掃	扉及び便所面台へだて	部分拭き	・汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	ごみ箱	ごみ収集	・ごみを収集し、容器を拭く。
	洗面台及び水栓	拭き	・スポンジで専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。
	鏡	拭き	・乾拭きして仕上げる。
	衛生器具	洗浄	・専用洗剤を用いて洗浄し拭きあげる。同じく金属も拭きあげる。
	衛生消耗品	補充	・トイレットペーパーや水石鹸等を補充する。
	汚物容器	汚物収集	・内容物を収集し、容器を洗浄する。

※便所・洗面所の資機材は、他と区別して専用のものを用いる。

カ 湯沸室

作業対象		作業項目	作業内容
床清掃 床以外の清掃	弾性床	1－(1)床の清掃アによる。	
	流し台	洗浄	・ 中性洗剤を用いてスポンジで、丁寧に洗浄する。
	厨芥容器	厨芥収集	・ 厨芥を収集する。 ・ 容器を中性洗剤で洗浄する。

キ エレベータ

作業対象		作業項目	作業内容
床清掃 床以外の清掃	弾性床	1－(1)床の清掃アによる。	
	壁・扉・操作盤	部分拭き	・ 汚れた部分を水又は専用洗剤を用いて拭く。
	扉溝	除塵	・ 真空掃除機で吸塵する。

ク 中央操作室・電気室・制御室

作業対象		作業項目	作業内容
床清掃	弾性床	1－(1)床の清掃アによる。	

ケ 階段

作業対象		作業項目	作業内容
床清掃	弾性床	1－(1)床の清掃アによる。	
	硬質床	1－(1)床の清掃イによる。	
	共通	洗浄時には幅木、ノンスリップの清掃を行う。	
床以外の清掃	手すり	拭き	・ タオルで水拭きする。

コ 機械室

作業対象		作業項目	作業内容
床清掃	硬質床	1－(1)床の清掃イによる。	

(3) ごみ運搬処理

作業対象	作業項目	作業内容
運搬	各所から集積所 までの運搬	・各所で集められた塵芥・厨芥などを区別して運搬する。
分別・梱包	分別	・集められたごみを種類ごとに分類する。
	梱包	・集められたごみを適当な分量に梱包する。

(4) 金沢水再生センター 作業項目及び周期

ア 床の清掃 (1/2)

金沢水再生センター			玄関ホール	センター長室	事務室	水質事務室	会議室	展示室	廊下	更衣室	詰所
作業対象	作業項目										
弾性床	日常	除塵									
		自在箒 フロアダスター 真空掃除機		毎日	毎日	毎日	毎日		毎日	毎日	毎日
		水拭き									
		部分水拭き 全面水拭き		毎日	毎日	毎日	毎日		毎日	毎日	毎日
	定期	洗浄									
		表面洗浄		6か月	6か月	6か月	6か月	3か月	3か月 6か月	6か月	6か月
硬質床	日常	除塵									
		自在箒 フロアダスター 真空掃除機	毎日								
		水拭き									
		部分水拭き 全面水拭き	毎日								
	定期	洗浄									
		表面洗浄 一般洗浄							6か月		
繊維床		除塵									
		真空掃除機									

ア 床の清掃 (2/2)

金沢水再生センター			水質試験室	中央操作室	便所	湯沸室	エレベータ	階段	電気室	制御室	機械室
作業対象	作業項目										
弾性床	日常	除塵									
		自在箒 フロアダスター 真空掃除機			毎日	毎日	毎日	毎日			
		水拭き									
	定期	部分水拭き 全面水拭き			毎日	毎日	毎日	毎日			
		洗淨									
硬質床	日常	除塵									
		自在箒 フロアダスター 真空掃除機									
		水拭き									
	定期	部分水拭き 全面水拭き									
		洗淨									
繊維床		表面洗淨 一般洗淨	6ヵ月	6ヵ月	6ヵ月	6ヵ月		3ヵ月	1年	1年	
		除塵									
		真空掃除機									

イ 床以外の清掃 (1/2)

金沢水再生センター			玄関ホール	センター長室	事務室	水質事務室	会議室	展示室	廊下	更衣室	詰所
作業対象	作業項目										
フロアマット	日常	除塵	毎日								
扉ガラス	日常	部分水拭き	毎日								
什器備品	日常	除塵	毎日								
ごみ箱	日常	ごみ収集	毎日	毎日	毎日	毎日			毎日		
金属部分	日常	除塵	毎日								
窓台	日常	除塵及び拭き									
扉及び便所へだて	日常	部分水拭き									
洗面台・水栓	日常	拭き									
鏡	日常	拭き									
衛生器具	日常	洗浄									
衛生消耗品	日常	補充									
汚物容器	日常	汚物収集									
流し台	日常	洗浄									
厨芥収集	日常	厨芥収集									
壁・扉・操作盤	日常	部分拭き									
扉溝	日常	除塵									
手すり	日常	拭き									

イ 床 以 外 の 清 掃 (2 / 2)

金沢水再生センター			水質試験室	中央操作室	便所	湯沸室	エレベータ	階段	電気室	制御室	機械室
作業対象	作業項目										
フロアマット	日常	除塵									
扉ガラス	日常	部分水拭き									
什器備品	日常	除塵									
ごみ箱	日常	ごみ収集			毎日						
金属部分	日常	除塵									
窓台	日常	除塵及び拭き									
扉及び便所へだて	日常	部分水拭き			毎日						
洗面台・水栓	日常	拭き			毎日						
鏡	日常	拭き			毎日						
衛生器具	日常	洗浄			毎日						
衛生消耗品	日常	補充			毎日						
汚物容器	日常	汚物収集			毎日						
流し台	日常	洗浄				毎日					
厨芥収集	日常	厨芥収集				毎日					
壁・扉・操作盤	日常	部分拭き					毎日				
扉溝	日常	除塵					毎日				
手すり	日常	拭き						毎日			

(5) ポンプ場 作業項目及び周期

ポンプ場			玄関ホール (六浦ポンプ場)	事務室 (金沢ポンプ場)	廊下 (金沢ポンプ場)	階段 (金沢ポンプ場・六浦ポンプ場)	詰所 (六浦ポンプ場)	便所 (金沢ポンプ場・六浦ポンプ場)	電気室・制御室 (金沢ポンプ場・六浦ポンプ場)	機械室 (六浦ポンプ場)
作業対象	作業項目									
弾性床	定期	洗浄 表面洗浄		6か月	3か月	3か月	6か月		1年	
硬質床	定期	洗浄 一般洗浄	3か月			3か月		3か月		1年

(5) 窓ガラス (内側)

作業項目	作業内容
洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス面に中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して、窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。

※熱線反射ガラスやフィルムが貼りつけてあるガラスは、傷等に注意して清掃すること。

2 建物外部の清掃

窓ガラス (外側)

作業項目	作業内容
洗浄	<ul style="list-style-type: none"> ・ガラス面に中性洗剤を適正希釈したものを塗布し、汚れを分解して、窓用スクイジーで汚水を除去する。 ・ガラス面の隅の汚水をタオルで拭き取る。 ・ガラス回りのサッシをタオルで清拭する。ただし、サッシの溝やサッシ全体の清拭は含まない。

※熱線反射ガラスやフィルムが貼りつけてあるガラスは、傷等に注意して清掃すること。

エレベータ設備保守点検業務

(履行場所)

第1条 本業務の履行場所は、次のとおりである。

金沢水再生センター

(仕様)

第2条 本業務の対象となるエレベータの仕様は、次のとおりである。

項 目	仕 様	
号 機	1号機 (本館)	2号機 (ポンプ棟)
用 途	乗用	
制 御 方 式	可変電圧可変周波数制御	
定 員 ・ 積 載 量	6名 450kg	
速 度	60 m/min	
電 源	AC400V 3相 50Hz	
停 止 箇 所 ・ 階	5箇所 B3、B2、B1、1、2階	4箇所 B3、B2、B1、1階
昇 降 行 程	25.9m	19.7m
昇 降 路 全 高	32.22m	27.82m
か ご 内 寸 法	間口1, 400mm × 奥行き850mm×高さ2, 300mm	
扉 開 閉 方 式	電動2枚戸中央開閉式	
巻き上げ電動機	AC200V-2.8kW	
操 作 方 式	乗合全自動方式	
製 造 会 社	中央エレベーター工業株式会社	

(関係法規)

第3条 本業務は、建築基準法(昭和25年法律第201号)・労働安全衛生法(昭和47年法律第57号)・同法施行令(昭和47年政令第318号)及びクレーン等安全規則(昭和47年労働省令第34号)等の関係法規の規定に基づき、本業務の本旨に従い善良な管理者の注意をもって業務を履行すること。

2 前項の規定等に定めのない細部の事項については、委託者・受託者で協議して決定すること。

(履行内容)

第4条 受託者は、エレベータ設備の電気・機械的性能及び安全装置の機能を維持保全するため、専門知識・経験を有する技術者により月1回の定期保守点検を実施すること。

また、地震時及び火災時管制運転装置、停電時自動着床装置については年1回の定期保守点検(9月)を実施すること。

2 受託者は、適切な保守を計画的に実施し、点検・調整から修理部品の取替えまで機能の維持に必要な保守のすべてを行うこと。

(緊急点検)

第5条 委託者がエレベータ設備に異常を認め通知した場合は、速やかに措置を講じること。

(費用負担)

第 6 条 本業務に要する費用は、別表－ 1 に係わる調整・点検及び部品交換等すべて本業務に含み、特記仕様書 1 における軽微な修繕等の対象には含まないものとする。ただし、次に掲げる費用については、委託者の負担とする。

- (1) 塗装、かご床タイル、意匠部品の取替え
- (2) 業務に必要な電気、水道料金

(完了検査)

第 7 条 業務共通仕様書 第 8 条のとおり。

別表－1

点検内容一覧表（地震及び火災時管制運転装置、停電時自動着床装置含む）

点検機器	点検項目
巻上げ機	(1) ウォームシャフト、ギア及びグランドパッキン (2) 軸受 (3) ブレーキコイル、シューライニング、ブレーキカップリング及び部品 (4) 駆動綱車、オイルシール (5) 防振ゴム
電動機	(1) 巻線、軸受、回転子、整流子
制御盤	(1) スイッチ、リレー、ヒューズ及び部品
調速機	(1) 張り車、軸受及び部品
受電盤	(1) ブレーカ、ヒューズ及び部品
かご関係	(1) カウンターシーブ及び部品 (2) ガイドシュウ、ローラーガイド部品 (3) かご非常停止装置 (4) 運転操作盤の部品 (5) ドアオペレータ装置及び部品 (6) ドアスイッチ、セーフティーシュウ及び部品 (7) ドアガイドシュウ、かご敷居、ドアハンガー及び部品 (8) カーポジション、インジケータ及び部品 (9) ファン及びブロワの部品 (10) 照明部品（ランプ類含む） (11) 停電灯 (12) インターホン (13) 積載超過警報装置
ホール信号装置	(1) ホールボタン及び部品 (2) ホールポジションインジケータ及び部品
ドア装置	(1) ドアクローザ及び部品 (2) ドアインターロック装置及び部品 (3) ドアハンガー及び部品
昇降路装置	(1) 頂部そらせ綱車及び軸受 (2) 巻上げ用ロープ (3) ガバナロープ (4) つり合いロープ及びつり合いチェーン (5) 移動ケーブル (6) リミットスイッチ及び部品 (7) レベリングスイッチ及び部品 (8) フロアーストップスイッチ及び部品 (9) ストップスイッチ及び部品 (10) 近接スイッチ及び部品
ピット関係	(1) 緩衝器（油圧またはスプリング型）及び部品 (2) つり合いロープ綱車、軸受及び部品 (3) つり合いロープ、ち緩スイッチ及び部品
その他	(1) 電気配線配管一式（ただし、昇降路外の配線配管は除く） (2) 各機器回路の絶縁抵抗測定一式

防災設備保守点検業務

(履行場所)

第1条 本業務の履行場所は、次のとおりである。

施設名	備考
金沢水再生センター	<ul style="list-style-type: none"> ・センター管理棟（本館）、水処理施設（汚泥脱臭機室、池電気室、滅菌棟、6系初沈エアタン、管廊）、 ・センター雨水滞水池 ・センター汚泥貯留設備 ・センター発電機棟
金沢ポンプ場	<ul style="list-style-type: none"> ・金沢ポンプ場本館 ・金沢ポンプ場雨水滞水池
六浦ポンプ場	

※各々の施設名毎に当該設備の加算すべき歩掛りの最大値を1回加算

(業務内容)

第2条 本の機器点検・総合点検の点検内容、点検周期及び点検対象は、次のとおりである。

- (1) 点検方法・点検項目は、消防法等関連法令等に基づいて実施すること。
- (2) 点検の周期

消防設備の種類	点検内容	点検の周期(点検時期)
消火器具 誘導灯及び誘導標識 非常コンセント設備	機器点検	2回/1年 (前期・後期実施)
屋内消火栓設備 ハロゲン化物消火設備	機器点検	2回/1年 (前期・後期実施)
自動火災報知設備 非常警報設備 排煙設備（防火戸・防火ダンパー等含む。） 連結送水管 非常電源専用受電設備	総合点検	1回/1年 (後期実施)
配線	総合点検	1回/1年 (後期実施)

- (3) 点検対象となる防災設備の機器・数量は、別表1－1から7－4のとおり

(ハロゲン化物消火設備等の点検)

第3条 ハロゲン化物消火設備の総合点検時に行う放出試験は、窒素ガス又は空気を試験用ガスとして使用すること。試験内容は、指定の防護区画の起動装置及び選択弁等の動作状態、ガス放射状態、制御装置等の点検を行うこと。なお、各配管系統のガス漏洩試験も合わせて行うこと。

放出試験の数量の内訳は、別表8のとおりである。

(屋内消火栓の放水試験)

第4条 屋内消火栓の放水試験は、年1回総合点検のときに実施すること。

(補修等)

第5条 点検によって、部品の交換又は補修等を必要とする箇所を発見した場合は、不良箇所の場所及び不良内容を明確にし、適切な処置ができるようにしておくとともに、立会職員に速やかに報告すること。

なお、補修の負担は委託者・受託者で協議すること。

2 保守点検時に必要な軽微な機器等の補修はすべて本業務に含み、特記仕様書1における軽微な修繕等の対象には含まないものとする。

(注意事項)

第6条 本業務における注意事項は、次のとおりである。

- (1) 業務内容を十分に理解し、作業中の不注意な行動、誤認等による事故の防止に努めること。
- (2) 現場責任者は現場に常駐するとともに、専門技術者を確保し、点検項目等は消防法等に基づいて実施すること。
- (3) 各室内等への立ち入りは、立会職員と打合わせのうえ立ち入ることとし、指定した場所以外、絶対に立ち入らないこと。また、覆蓋等の上には絶対に乗らないこと。
- (4) 点検員は、会社名、氏名を書いた名札またはヘルメットを着用すること。

(完了検査)

第7条 業務共通仕様書 第8条のとおり。

消防用設備等の機器と数量

棟名：センター管理棟（本館）、水処理施設（汚泥脱臭機室、池電気室、滅菌棟、6系初沈エアタンク、管廊）

別表 1-1 消火器具

機器名	数 量	機器名	数 量
粉末消火器 加圧式	5 本	粉末消火器 車載式	7 本
粉末消火器 蓄圧式	115 本		

別表 1-2 屋内消火栓設備

機器名	数 量	機器名	数 量
加圧送水装置	1 組	放水試験（後期のみ）	1 式
制御盤	1 面	水源(貯留槽、給水装置、バルブ類等)	1 組
消火栓	30 組		

別表 1-3 ハロゲン化物消火設備

機器名	数 量	機器名	数 量
消火剤貯蔵容器(ハロン1301)	51 基	電源装置	1 組
容器弁開放装置(電磁式)	6 個	圧力スイッチ	6 個
容器弁開放装置(ガス圧式)	51 個	ダンパー	16 個
起動用ガス容器	6 個	放出表示灯箱	25 個
起動用操作箱	6 個	選択弁	6 個
音響装置	10 組	ヘッド	97 個
制御盤(6回線)	1 面	作動試験	1 式
音声盤	1 面	放出試験（後期のみ・試験容器使用）	1 式

別表 1-4 自動火災報知設備

機器名	数 量	機器名	数 量
受信機 P 型 1 級(9, 15, 91 回線)	3 面	表示灯	47 灯
受信機 P 型 2 級(1 回線)	2 面	P 型 1 級発信器	58 個
差動式又は補償式スポット型感知器	28 個	音響装置	59 個
定温式スポット型感知器	13 個	消火栓起動装置	1 個
煙感知器	497 個	常用電源（交流電源）	5 組
光電式分離型感知器	3 セット	予備電源（受信機のみ）	5 組

別表 1-5 誘導灯及び誘導標識

機器名	数 量	機器名	数 量
誘導灯	138 灯	誘導標識	84 枚

別表 1-6 排煙設備

機器名	数 量	機器名	数 量
制御盤(1, 7, 19 回線)	3 面	電動式シャッター	13 枚
ダンパー	62 個	手動式シャッター	10 枚
排煙口	21 個	排煙装置(モーター駆動)	3 台
防火戸ドア式(両開き扉・常開)	7 枚	排煙装置起動盤	3 面
各種動作確認等（後期のみ）	1 式		

別表 1 - 7 連結送水管

機器名	数 量	機器名	数 量
送水口	3 組	放水口	5 組
配管の耐圧機能（後期のみ）	1 組		

別表 1 - 8 非常警報設備

機器名	数 量	機器名	数 量
増幅器操作部（360W 自動火災報知設備連動）	5 台	音量調整器	21 個
		スピーカ	247 個
増幅器操作部（240W 自動火災報知設備連動）	1 台	起動装置押しボタン	4 個
常用電源	1 組	音圧確認、非常電源による総合作動等（後期のみ）	1 式
予備電源	1 組		

別表 1 - 9 非常電源専用受電設備

機器名	数 量
低圧受電設備	2 式

別表 1 - 10 絶縁抵抗測定及び配線点検（後期）

機器名	数 量
配線	9 式

棟名：センター雨水滞水池

別表 2 - 1 消火器具

機器名	数 量	機器名	数 量
粉末消火器 加圧式	1 本	粉末消火器 車載式	1 本
粉末消火器 蓄圧式	28 本		

別表 2 - 2 屋内消火栓設備

機器名	数 量	機器名	数 量
加圧送水装置	1 組	放水試験（後期のみ）	1 式
制御盤	1 面	水源（貯留槽、給水装置、バルブ類等）	1 組
消火栓	8 組		

別表 2 - 3 自動火災報知設備

機器名	数 量	機器名	数 量
受信機 P 型 1 級（12 回線）	1 面	音響装置	14 組
差動式分布型感知器	3 個	消火栓起動装置	1 個
煙感知器	26 個	常用電源（交流電源）	1 組
表示灯	14 灯	予備電源（受信機のみ）	1 組
P 型 1 級発信器	14 個		

別表 2 - 4 誘導灯

機器名	数 量
誘導灯	21 灯

別表 2-5 非常警報設備

機器名	数 量	機器名	数 量
スピーカ	21個	音圧確認、非常電源による総合作動等 (後期のみ)	1 式

別表 2-6 非常電源専用受電設備

機器名	数 量
低圧受電設備	1 式

別表 2-7 絶縁抵抗測定及び配線点検 (後期)

機器名	数 量
配線	1 式

棟名：センター汚泥貯留設備

別表 3-1 消火器具

機器名	数 量
粉末消火器 蓄圧式	7 本

別表 3-2 自動火災報知設備

機器名	数 量	機器名	数 量
受信機 P 型 1 級 (6 回線)	1 面	P 型 1 級発信器	4 個
定温式スポット型感知器	15 個	音響装置	4 組
煙感知器	7 個	常用電源 (交流電源)	1 組
表示灯	4 灯	予備電源 (受信機のみ)	1 組

別表 3-3 誘導灯及び誘導標識

機器名	数 量	機器名	数 量
誘導灯	10 灯	誘導標識	3 枚

別表 3-4 非常警報設備

機器名	数 量	機器名	数 量
スピーカ	8 個	音圧確認、非常電源による総合作動等 (後期のみ)	1 式

別表 3-5 絶縁抵抗測定及び配線点検 (後期)

機器名	数 量
配線	1 式

棟名：センター新自家発棟

別表 4-1 消火器具

機器名	数 量	機器名	数 量
粉末消火器 車載式	3 本	粉末消火器 蓄圧式	11 本

別表 4-2 自動火災報知設備

機器名	数 量	機器名	数 量
受信機 P 型 1 級 (5 回線)	1 面	P 型 1 級発信器	3 個
差動式分布型感知器	9 個	音響装置	3 組
煙感知器	25 個	常用電源 (交流電源)	1 組
表示灯	3 灯	予備電源 (受信機のみ)	1 組

別表 4-3 非常警報設備

機器名	数 量	機器名	数 量
スピーカ	3 個	音圧確認、非常電源による総合作動等 (後期のみ)	1 式

別表 4-4 絶縁抵抗測定及び配線点検 (後期)

機器名	数 量
配線	1 式

棟名：金沢ポンプ場本館

別表 5-1 消火器具

機器名	数 量	機器名	数 量
粉末消火器 車載式	3 本	粉末消火器 蓄圧式	26 本

別表 5-2 屋内消火栓設備

機器名	数 量	機器名	数 量
加圧送水装置	1 組	起動用スイッチ	16 個
制御盤	1 面	放水試験 (後期のみ)	1 式
消火栓	16 組	水源(貯留槽、吸水装置、バルブ類等)	1 組

別表 5-3 ハロゲン化物消火設備

機器名	数 量	機器名	数 量
消火剤貯蔵容器(ハロン1301)	73 基	圧力スイッチ	3 個
容器弁開放装置(電磁式)	3 個	ダンパー	4 個
容器弁開放装置(ガス圧式)	73 個	放出表示灯箱	15 個
起動用ガス容器	3 個	選択弁	3 個
起動用操作箱	3 個	ヘッド	78 個
音響装置	11 組	作動試験	1 式
制御盤(3回線)	1 面	放出試験 (後期のみ・試験容器使用)	1 式
電源装置	1 組		

別表 5-4 自動火災報知設備

機器名	数 量	機器名	数 量
受信機 P 型 1 級 (32 回線)	1 面	P 型 1 級発信器	16 個
副受信機 P 型 1 級 (32 回線)	1 面	音響装置	16 組
定温式スポット型感知器	17 個	消火栓起動装置	1 個
煙感知器	191 個	常用電源 (交流電源)	1 組
表示灯	16 灯	予備電源 (受信機のみ)	1 組

別表 5-5 誘導灯及び誘導標識

機器名	数 量	機器名	数 量
誘導灯	17灯	誘導標識	1 枚

別表 5-6 排煙設備

機器名	数 量	機器名	数 量
制御盤(12回線)	1 面	防火戸ドア式(片開き扉・常開)	1 枚
ダンパー	36個	各種動作確認等(後期のみ)	1 式

別表 5-7 非常電源専用受電設備

機器名	数 量
低圧受電設備	1 式

別表 5-8 絶縁抵抗測定及び配線点検(後期)

機器名	数 量
配線	1 式

棟名：金沢ポンプ場雨水滞水池

別表 6-1 消火器具

機器名	数 量	機器名	数 量
粉末消火器 加圧式	1 本	粉末消火器 蓄圧式	22本

別表 6-2 屋内消火栓設備

機器名	数 量	機器名	数 量
加圧送水装置	1 組	放水試験(後期のみ)	1 式
制御盤	1 面	水源(貯留槽、吸水装置、バルブ類等)	1 組
消火栓	5 組		

別表 6-3 自動火災報知設備

機器名	数 量	機器名	数 量
受信機 P 型 1 級(18回線)	1 面	音響装置	10組
差動式分布型感知器	9 個	消火栓起動装置	1 個
煙感知器	28個	常用電源(交流電源)	1 組
表示灯	10灯	予備電源(受信機のみ)	1 組
P 型 1 級発信器	10個		

別表 6-4 誘導灯及び誘導標識

機器名	数 量	機器名	数 量
誘導灯	16灯	誘導標識	8 枚

別表 6-5 非常コンセント

機器名	数 量
非常コンセント(単相100V)	6 個

別表 6-6 非常電源専用受電設備

機器名	数 量
低圧受電設備	1 式

別表 6 - 7 絶縁抵抗測定及び配線点検 (後期)

機器名	数 量
配線	1 式

棟名：六浦ポンプ場

別表 7 - 1 消火器具

機器名	数 量	機器名	数 量
粉末消火器 加圧式	5 本	粉末消火器 車載式	2 本
粉末消火器 蓄圧式	10 本		

別表 7 - 2 自動火災報知設備

機器名	数 量	機器名	数 量
受信機 P 型 1 級 (7 回線)	1 面	表示灯	5 灯
差動式分布型感知器	3 個	P 型 1 級発信器	5 個
差動式又は補償式スポット型感知器	9 個	音響装置	5 組
定温式スポット型感知器	2 個	常用電源 (交流電源)	1 組
煙感知器	10 個	予備電源 (受信機のみ)	1 組

別表 7 - 3 誘導灯及び誘導標識

機器名	数 量	機器名	数 量
誘導灯	4 灯	誘導標識	1 枚

別表 7 - 4 絶縁抵抗測定及び配線点検 (後期)

機器名	数 量
配線	1 式

別表 8 ハロゲン化物消火設備放出試験対象数量

施設名	ガス種別	内容積/充填量	放出試験数量/ 設置容器数量
金沢水再生センター	ハロン 1301	68ℓ/50kg	1 本/51 本
金沢ポンプ場	ハロン 1301	68ℓ/50kg	1 本/73 本

※放出試験数量に合わせ歩掛を加算

放出試験数量は放出試験ガスを 47L 型 (7000L) としたときの数量

空調機器定期点検業務

(履行場所)

第1条 本業務の履行場所は、次のとおりである。

金沢水再生センター

(業務内容)

第2条 本業務の内容等は、次のとおりである。

業 務 内 容	点 検 台 数
パッケージ形空調設備の定期点検	リモートコンデンサ型 室内機 5 台
	リモートコンデンサ型 室外機 9 台
	セパレート型 室内機 3 6 台
	セパレート型 室外機 2 1 台

(点検対象機器の仕様)

第3条 本業務の定期点検対象機器の仕様は、別表－1 のとおりである。

(対象機器の点検項目)

第4条 本業務の定期点検対象機器の点検項目等は、別表－2 のとおりである。

(点検管理)

第5条 点検管理は、次のとおりである。

- (1) 機器、設備の点検内容の確認及び工程の打合せ
- (2) 点検チェックリストの作成
- (3) 点検完了後の点検報告書作成
- (4) その他必要な事項

(フロン排出抑制法対応のフロン類漏えい点検)

第6条 平成27年4月より施行されたフロン排出抑制法において、定期点検の対象となる機器（別表－1 参照）については、以下の内容の点検を実施し、機器ごとの点検記録を提出すること。なお、点検は、フロン類の性状及び取扱いの方法並びにエアコンディショナー、冷凍冷蔵機器の構造並びに運転方法について、フロン排出抑制法に規定される十分な知見を有する者が、検査を自ら行い又は検査に立ち会うこと。

- (1) 機器の異常音の有無について確認すること。
- (2) 機器の外観の損傷、摩耗、腐食及び錆その他の劣化、油漏れ並びに熱交換器への霜の付着の有無について、目視により確認すること。
- (3) 直接法、間接法またはこれらを組み合わせた方法による検査を実施すること。

2 フロン類の漏えいまたは故障等を確認した場合は委託者にその旨を通知し、その後の対応について協議すること。

(注意事項)

第7条 本業務における注意事項は、次のとおりである。

- (1) 業務内容、業務範囲を十分理解し、作業中の不注意な行動、誤認等による事故の防止に努めること。
- (2) 専門技術者を確保し、点検項目等に基づいて実施すること。
- (3) 指定した場所以外、絶対に立ち入らないこと

(機器の補修等)

第8条 受託者は定期点検によって、部品の交換又は特別の資材を必要とする補修等の故障を発見したときは、委託者に対し速やかに故障内容を報告すること。なお、補修の負担は、委託者及び受託者で協議すること。

- 2 定期点検時に必要な軽微な機器等の補修は、すべて本業務に含み、特記仕様書1における軽微な修繕等の対象には含まないものとする。

(完了検査)

第9条 業務共通仕様書 第8条のとおり。

別表ー 1 定期点検対象機器の仕様

機器名	機番	設置場所	フロン排出抑制 法定期点検 対象機器	仕 様
パッケージ形 空調設備	展示会議室 ACP-2 リモートコンデンサ型	本館 展示会議室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FRYFJ630PYER 室外機型番 : CRYFJ280PYER× 2 冷房能力 : 56kW 冷媒 : R-22
	No. 41-1 空調機 リモートコンデンサ型	本館 1F 空調機械室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FRP600AKR 室外機型番 : CRP300AKR× 2 冷房能力 : 53kW 冷媒 : R-410A
	No. 41-2 空調機 リモートコンデンサ型	本館 中央計算機室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FRP600AKR 室外機型番 : CRP300AKR× 2 冷房能力 : 53kW 冷媒 : R-410A
	空調機 2 号機 リモートコンデンサ型	池電気室 (2)	対象	メーカー : 三菱重工業株式会社 室内機型番 : ASP280 室外機型番 : AUCP280 冷房能力 : 25kW 冷媒 : R-407C
	PAC-1 リモートコンデンサ型	池電気室 (3)	対象	メーカー : 三菱重工業株式会社 室内機型番 : AS-159W 室外機型番 : AUC-89× 2 冷房能力 : 35.5kW 冷媒 : R-22
	水質空調機 ACP-1 セパレート型	本館B1F 空調機械室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FVVP1120MAR 室外機型番 : RMYCP280KER× 4 冷房能力 : 134kW 冷媒 : R-410A
	水質空調機 ACP-2 セパレート型	本館B1F 空調機械室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FVVP1120MAR 室外機型番 : RMYCP280KER× 4 冷房能力 : 134kW 冷媒 : R-410A
	中央 EHP-1 セパレート型	中央操作室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FVVP1120MAR 室外機型番 : RMYCP280KAER× 4 冷房能力 : 100kW 冷媒 : R-410A
	MAC-1 セパレート型	B1F ブロワー電気室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FXYL71MD× 6 室外機型番 : RXYP560FER× 2 冷房能力 : 56kW 冷媒 : R-410A

(特記仕様書 5)

機器名	機番	設置場所	フロン排出抑制 法定期点検 対象機器	仕 様
パッケージ形 空調設備	MAC-2 セパレート型	1F作業員控室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FXYFP112MK× 2 FXYKP56CA 室外機型番 : RXYP400FER 冷房能力 : 40kW 冷媒 : R-410A
	MAC-3 セパレート型	1F主電気室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FXYLP71MD× 4 室外機型番 : RXYP400FER 冷房能力 : 40kW 冷媒 : R-410A
	MAC-4 セパレート型	2F事務室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FXYFP71MK× 6 FXYFP80MK FXYFP140MK FXYFP112MK× 2 FXYLP28MD FXYFP71MK 室外機型番 : RXYP1220FER× 3 冷房能力 : 122kW 冷媒 : R-410A
	MAC-5 セパレート型	2Fポンプ 電気室	対象	メーカー : ダイキン工業株式会社 室内機型番 : FXYLP71MD× 8 室外機型番 : RXYP730FER× 2 冷房能力 : 73kW 冷媒 : R-410A

別表－ 2 定期点検対象機器の点検項目等

機器名	構 成 機 器	点 検 項 目
パッケージ形 空調設備	圧縮機 送風機 熱交換器 加湿器	1 パッケージ本体の清掃
		2 エアフィルター、ドレンパンの清掃
		3 運転回路、電気機器の点検
		4 冷媒ガス系統の漏れ点検、油量の点検
		5 送風機の点検（ファンベルトの点検及び調整）
		6 電気関係の絶縁抵抗測定（電磁接触器の二次側にて測定）
		7 加湿器の点検清掃
		8 ベアリング関係の点検
		9 運転状態の確認
		10 その他必要事項

飲料水用受水槽点検清掃業務

(履行場所)

第1条 本業務の履行場所は、次のとおりである。

金沢水再生センター

(適用法令)

第2条 水道法（昭和32年・法律第177号）及び関係法令、横浜市簡易給水水道及び小規模受水槽における安全で衛生的な飲料水の確保に関する条例の規定を準拠すること。

(業務内容)

第3条 本業務の業務内容は、次のとおりである。

- (1) 受水槽、高置水槽の点検及び清掃
- (2) 水質検査
- (3) その他必要と考えられる業務

(業務の対象水槽)

第4条 業務の対象水槽は、次のとおりである。

水 槽 名	設置場所	ビル管理 法の適用 の有 無	受水槽 の区分	有 効 容 量
No.1 受水槽	地下1階	無	簡易専用 水道	15.5 m ³ (縦 2.5m×横 4m×深さ2m)
No.2 受水槽	地下1階	無	簡易専用 水道	15.5 m ³ (縦 2.5m×横 4m×深さ2m)
高置水槽	屋上	無	簡易専用 水道	7.6 m ³ (縦 1.5m×横 4m×深さ2m)

(点検項目)

第5条 受水槽及び高置水槽等の点検項目と点検内容は、別表1のとおりである。

なお、業務実施前に点検項目の詳細を提出し、委託者の承諾を得ること。

(消毒)

第6条 受水槽及び高置水槽等を清掃した後、50～100ppmの次亜塩素酸ナトリウムで、2回以上槽内の消毒を行うこと。

(自主検査)

第7条 清掃完了後、次の5項目の水質検査を実施し、委託者に報告書を提出すること。

- (1) 残留塩素測定 (0.1 mg/ℓ以上)
- (2) 色度 (5度以下であること)
- (3) 濁度 (2度以下であること)
- (4) 臭気 (異常でないこと)
- (5) 味 (異常でないこと)

(指定検査機関による検査)

第8条 清掃完了後、業務の対象となった水槽の管理状況の定期検査を、厚生労働大臣の登録を受けた検査機関または、横浜市登録検査機関による検査を受けること。

(費用の負担)

第9条 次に掲げる費用等は、委託者の負担とする。

- (1) 本業務に必要な電気、上水の使用料金
- (2) 老朽化により機材の更新又は、交換の必要が生じた場合の補修費用。ただし、特記仕様書1における軽微な修繕等に対応可能な場合、費用の負担は委託者・受託者で協議すること。

(注意事項)

第10条 注意事項は、次のとおりである。

- (1) 業務内容及び業務範囲を十分に理解し、作業中の不注意な行動、誤認等による事故の防止に努めること。
- (2) 清掃用具は、滅菌消毒済のものを使用すること。

(完了検査)

第11条 業務共通仕様書 第8条のとおり。

別表 1 点検項目

点 検 項 目		判 定		判 定 基 準 等
		番号	適否	
(受水槽の施設の外観点検)	受水槽の周囲の状態	1		点検、清掃、修理等に支障のない空間が確保されていること。
		2		清潔であり、ごみ、汚物等が置かれていないこと。
		3		水槽周辺にたまり水、湧水等がないこと。
	受水槽本体の状態	4		点検、清掃、修理等に支障のない形状であること。
		☆5		亀裂し、又は漏水している箇所がないこと。
		☆6		雨水等が入り込む開口部や接合部のすき間がないこと。
		☆7		水位電極部、揚水管等の接合部が固定され、防水密閉されていること。
	受水槽上部の状態	8		水槽上部は水たまりができない状態であり、ほこりその他衛生上有害のものが堆積していないこと。
		9		水槽のふた上部には他の設備機器等が置かれていないこと。
		10		水槽の上床盤の上部には、水を汚染するおそれのある設備、機器等が置かれていないこと。
	受水槽内部の状態	☆11		汚泥、赤さび等の沈積物、槽内壁又は内部構造物の汚れ、塗装の剥離等が異常に存在しないこと。
		☆12		掃除が定期的に行われていることが明らかであること。
		13		外壁の塗装の劣化等により光が透過する状態になっていないこと。
		☆14		当該施設以外の配管設備が設置されていないこと。
		15		流入口と流出口が近接していないこと。
		☆16		水中及び水面に異常な浮遊物質が認められないこと。
	受水槽のマンホール の状態	☆17		ふたが防水密閉型のものであって、ほこりその他衛生上有害なものが入らないものであること。
		18		点検等を行う者以外の者が容易に開閉できないものであること。
		☆19		マンホール面は、槽上面から衛生上有効に立ち上がっていること。
	受水槽のオーバーフロー管の状態	20		管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。
		21		管端部の防虫網は正常であることが確認できること。
				防虫網の網目は、虫等の侵入を防ぐのに十分な大きさであること。
		☆22		管端部と排水管の流入口等とは直接連結されていないこと。
		23		管端部と排水管の流入口等の間隔は逆流の防止に十分な距離であること。
	受水槽の通気管の状態	☆24		管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。
		25		管端部の防虫網は正常であることが確認できること。
				防虫網の網目は、虫等の侵入を防ぐのに十分な大きさであること。

☆印に否又は×が付くと検査は、不合格となります。その他の欄に否又は×が付いた場合は、再清掃、整備、改善の措置を講じること。

点 検 項 目		判 定		判 定 基 準 等
		番号	適否	
	受水槽の水 抜管の状態 受水槽の給 水管等の状 態	26		通気管として十分な有効断面積を有するものであること。
		27		管端部と配水管の流入口等とは直接連結されていないこと。
		28		管端部と配水管の流入口等の間隔は、逆流防止に十分な距離であること。
		☆29		水を汚染するおそれのある設備の中を貫通していないこと。
（ 高 置 水 槽 ） 施 設 の 外 観 点 検	高置水槽の 周囲の状態	30		点検、清掃、修理等に支障のない空間が確保されていること。
		31		清潔であり、ごみ、汚物等が置かれていないこと。
		32		水槽周辺にたまり水、湧水等がないこと。
	高置水槽 本体の状態	33		点検、清掃、修理等に支障のない形状であること。
		☆34		亀裂し、又は漏水している箇所がないこと。
		☆35		雨水等が入り込む開口部や接合部のすき間がないこと。
		☆36		水位電極部、揚水管等の接合部が固定され、防水密閉されていること。
	高置水槽上 部の状態	37		水槽上部は水たまりができない状態であり、ほこりその他衛生上有害のものが堆積していないこと。
		38		水槽のふた上部には他の設備機器等が置かれていないこと。
		39		水槽の上床盤の上部には、水を汚染するおそれのある設備、機器等が置かれていないこと。
	高置水槽内 部の状態	☆40		汚泥、赤さび等の沈積物、槽内壁又は内部構造物の汚れ、塗装の剥離等が異常に存在しないこと。
		☆41		掃除が定期的に行われていることが明らかであること。
		42		外壁の塗装の劣化等により光が透過する状態になっていないこと。
		☆43		当該施設以外の配管設備が設置されていないこと。
		44		流入口と流出口が近接していないこと。
		☆45		水中及び水面に異常な浮遊物質が認められないこと。
	高置水槽の マンホール の状態	☆46		ふたが防水密閉型のものであって、ほこりその他衛生上有害なものが入らないものであること。
		47		点検等を行う者以外の者が容易に開閉できないものであること。
		☆48		マンホール面は、槽上面から衛生上有効に立ち上がっていること。
	高置水槽の オーバーフ ロー管の状 態	49		管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。
		50		管端部の防虫網は正常であることが確認できること。
				防虫網の網目は、虫等の侵入を防ぐのに十分な大きさであること。
		☆51		管端部と排水管の流入口等とは直接連結されていないこと。
		52		管端部と排水管の流入口等の間隔は逆流の防止に十分な距離であること。

☆印に否又は×が付くと検査は、不合格となります。その他の欄に否又は×が付いた場合は、再清掃、整備、改善の措置を講じること。

点 検 項 目		判 定		判 定 基 準 等
		番号	適否	
	高置水槽の	☆53		管端部からほこりその他衛生上有害なものが入らない状態にあること。
	通気管の状	54		管端部の防虫網は正常であることが確認できること。
	態			防虫網の網目は、虫等の侵入を防ぐのに十分な大きさであること。
		55		通気管として十分な有効断面積を有するものであること。
	高置水槽の	56		管端部と排水管の流入口等とは直接連結されていないこと。
	水抜管の状			管端部と配水管の流入口等の間隔は、逆流の防止に十分な距離であること。
	態			
そ の 他	高置水槽の	☆57		当該施設以外の配管設備と直接連結されていないこと。
	給水管等の	☆58		水を汚染するおそれのある設備の中を貫通していないこと。
	状態			
水 質 検 査	臭気	☆59		給水栓における水に異常な臭気が認められないこと。
	味	☆60		給水栓における水に異常な味が認められないこと。
	色度	☆61		給水栓における水に異常な色が認められないこと。
		☆62		給水栓における水の色度が 5 以下であること。
	濁度	☆63		給水栓における水の濁度が 2 度以下であること。
	残留塩素	☆64		給水栓における水から遊離残留塩素が検出されること。(0.1mg/ℓ以上)
書 類 検 査	書類の整備 保存の状況	65		簡易専用水道の設備の配置及び系統を明らかにする図面が整理保存されていること。
				受水槽の周囲の構造物の配置を明らかにする図面が整理保存されていること。
				水槽の掃除の記録が整理保存されていること。
				その他必要な帳簿書類が整理保存されていること。

☆印に否又は×が付くと検査は、不合格となります。その他の欄に否又は×が付いた場合は、再清掃、整備、改善の措置を講じること。

レジオネラ属菌水質検査業務

(検査仕様)

第1条 本業務内容は、横浜市レジオネラ症防止対策指導要綱に準じて、金沢水再生センターほか2か所において採取済みの検査対象水（6本）を回収し、レジオネラ属菌の水質検査を行うものである。なお、試験方法においては「新版レジオネラ症防止指針」（旧厚生省生活衛生局企画課）掲載の試験方法とする。

(検査対象の引渡し)

第2条 本業務の検査対象水回収場所は次のとおりである。
金沢水再生センター

(検体数及び検査対象)

第3条 本業務の検査対象水数は別表1、採水場所名称は別表2のとおりである。

(本市への貸与品)

第4条 検査対象水の採取にあたり、検査対象水相当数の殺菌済保存容器を水再生センター等に事前に貸与するものとする。

(注意事項)

第5条 本業務の実施における注意事項は、次のとおりである。

- (1) 検体の搬送については、保冷機能を有する容器に収納し、搬送温度6～18℃で運搬すること。
- (2) 検査対象水の回収日程については、事前に打合せのうえ決定すること。
- (3) その他、本市担当職員と十分打合せのうえ、業務を実施する。

(完了検査)

第6条 業務共通仕様書 第2条のとおり。

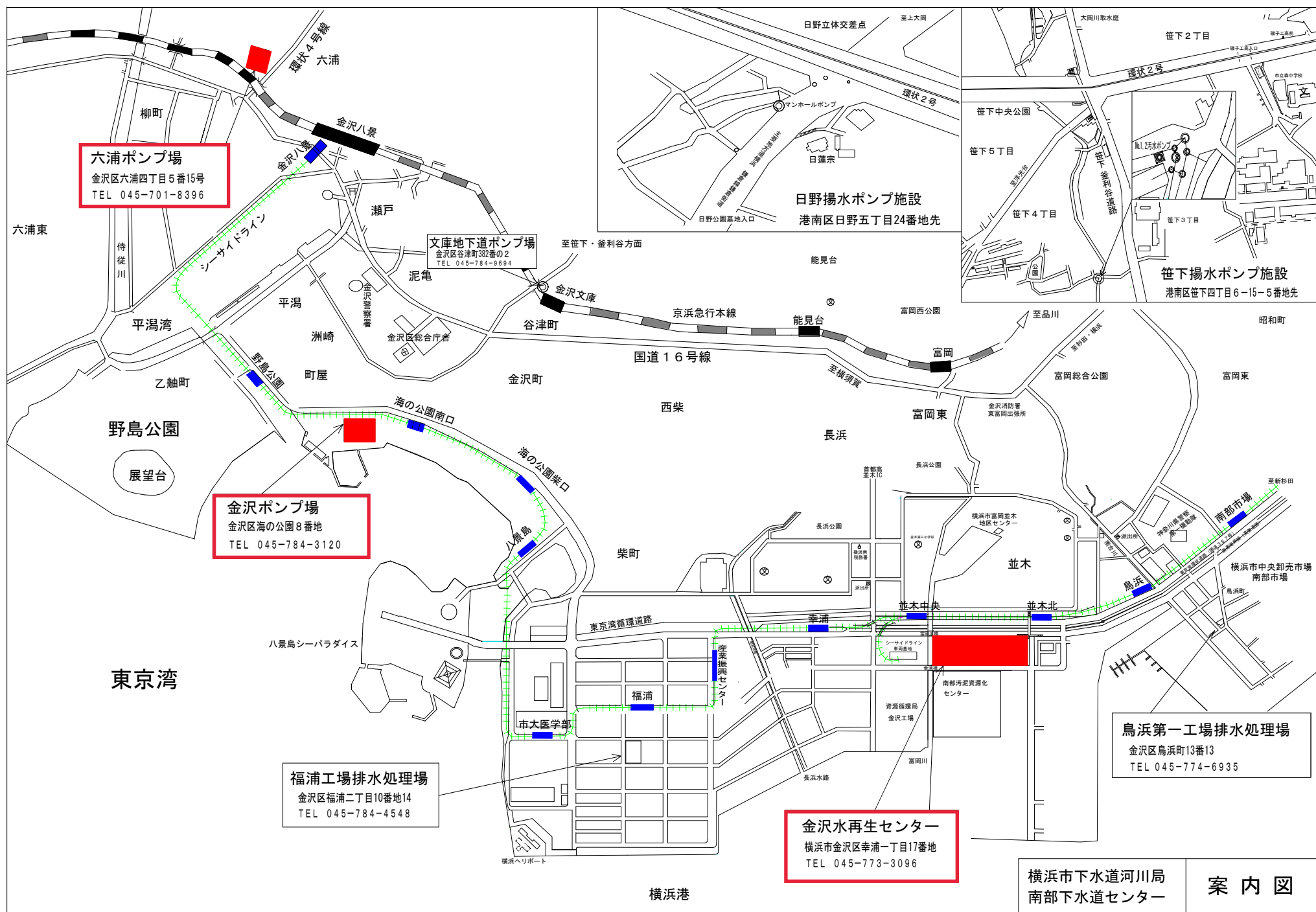
別表 1 検査対象水数 (7 検体)

名 称	冷 却 塔 水	修 景 池 等	そ の 他	履 行 予 定
金沢水再生センター	2	1	1	7 月、11 月、3 月
金沢ポンプ場	1	—	—	7 月、11 月、3 月
六浦ポンプ場	1	—	—	7 月、11 月、3 月

別表 2 採水場所名称一覧

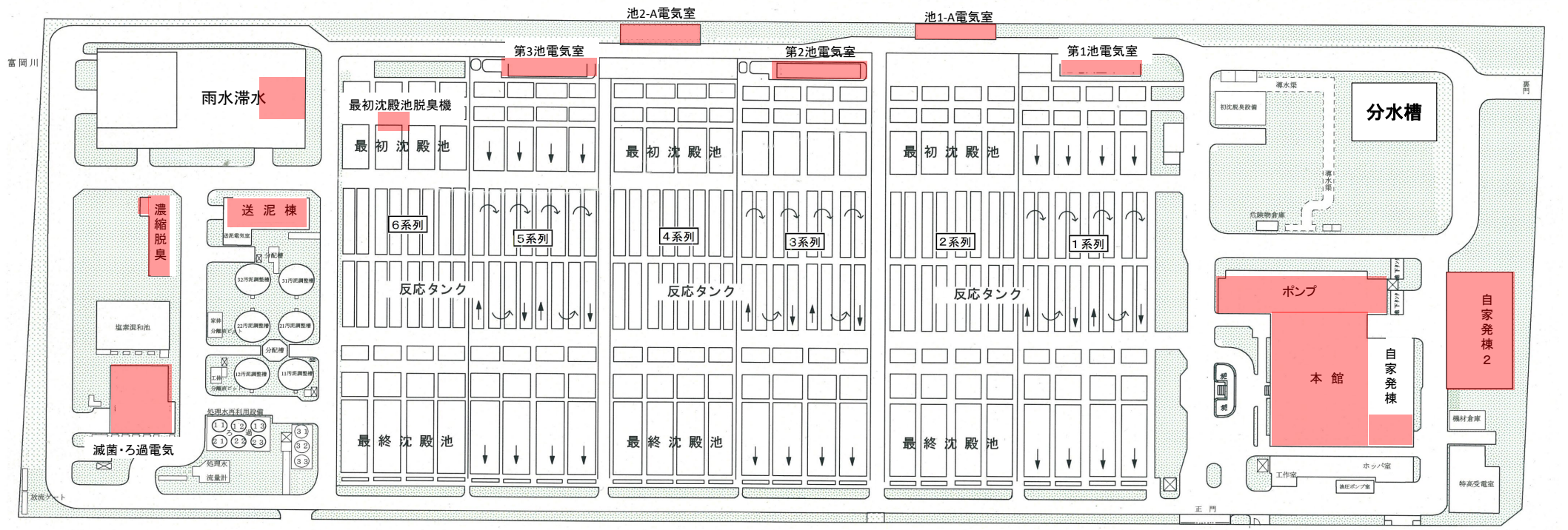
番 号	採 水 場 所	検体区分	備 考
1	金沢水再生センター 旧自家発棟	冷却塔水	
2	金沢水再生センター ブロワ	冷却塔水	
3	金沢水再生センター 前庭 (修景池)	修景池等	
4	金沢水再生センター ろ過水 (ろ過タンク)	その他	
5	金沢ポンプ場 管理棟 (自家発)	冷却塔水	
6	六浦ポンプ場 ポンプ補機棟 (エンジン)	冷却塔水	

注) 南部下水道センター職員が事前に採水する。



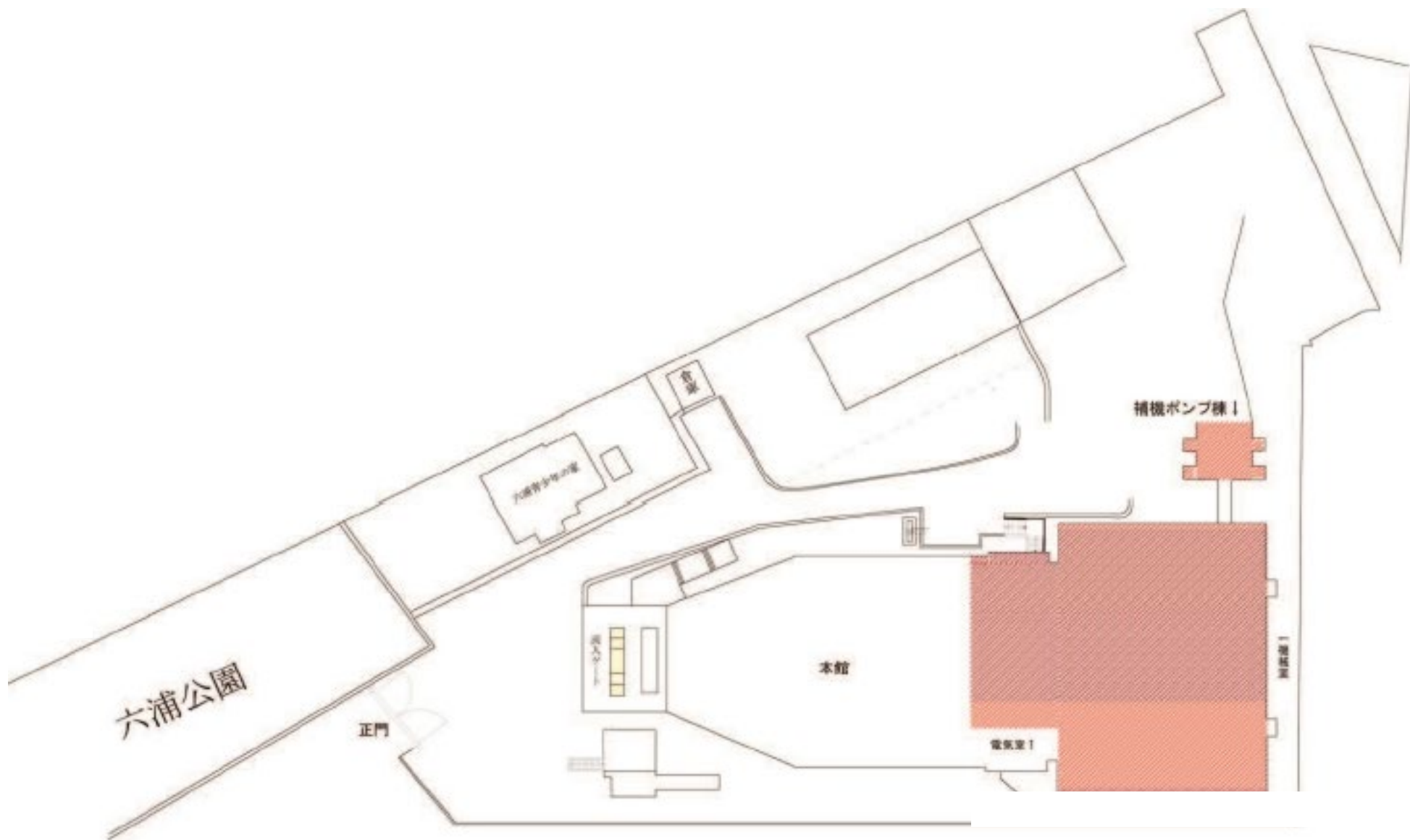



国道357号線



着色部は本委託の履行範囲を示

委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	1/29
図名	全体平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

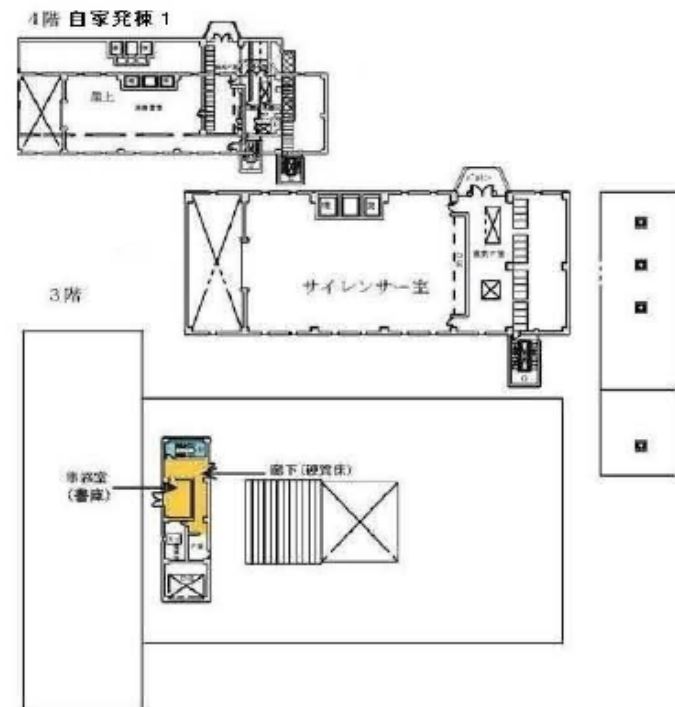



 :着色部は本委託の履行範囲を示

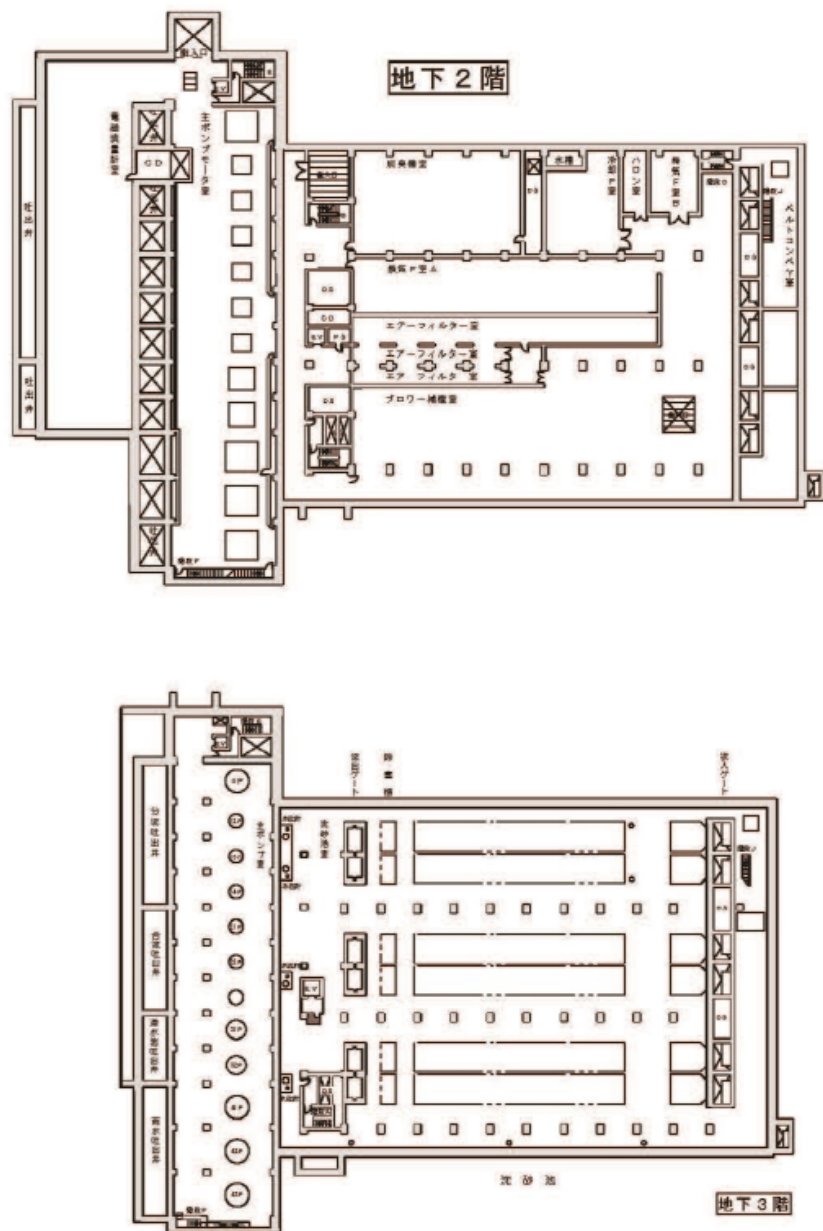
委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	3/29
図名	六浦ポンプ場平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



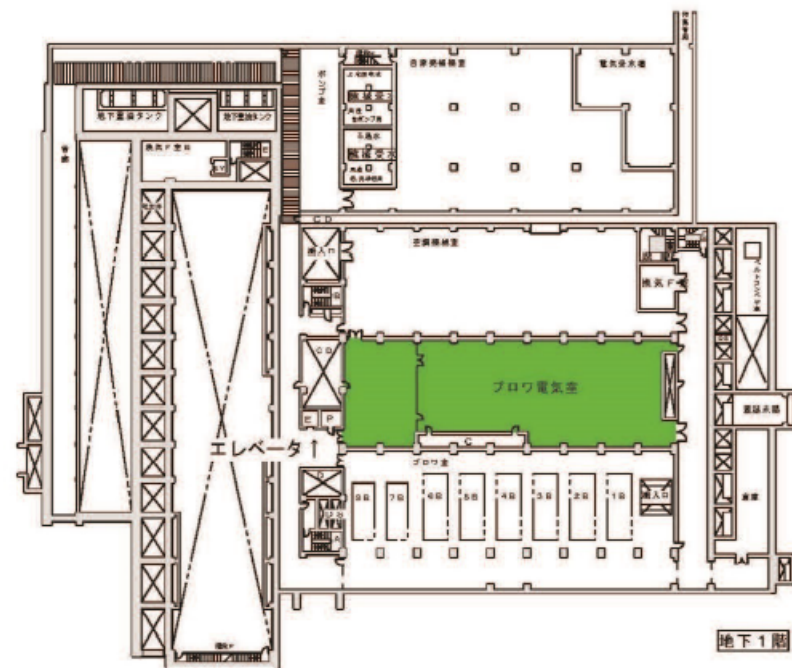
日常清掃のみ		定期清掃2のみ	
定期清掃1のみ		日常清掃及び定期清掃2	
日常清掃及び定期清掃1		電気機械室定期清掃	
窓ガラス清掃1			
窓ガラス清掃2			
窓ガラス清掃1(内部)		内部で両面の場合	
窓ガラス清掃2(内部)			



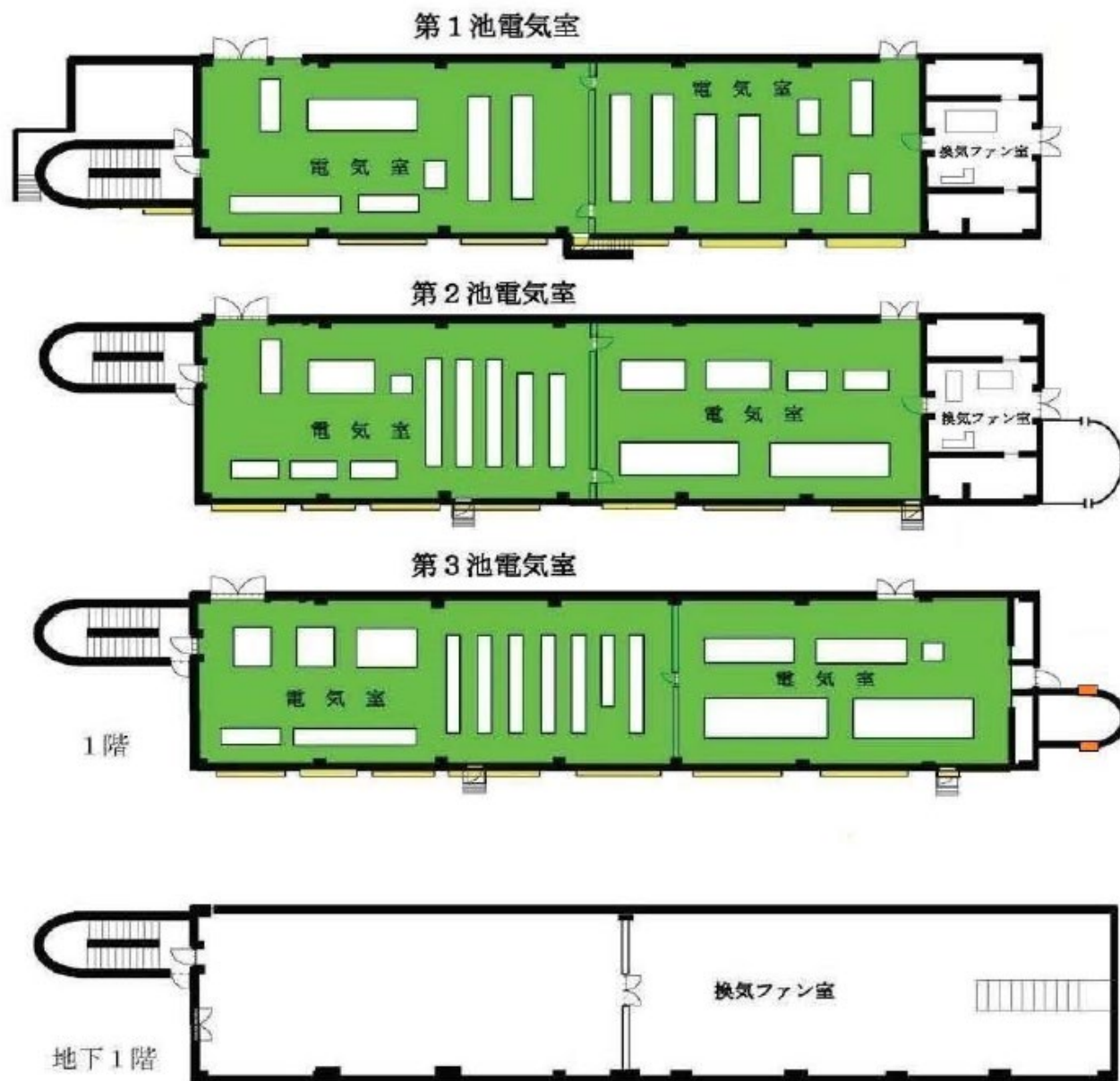
委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	4/29
図名	金沢水再生センター本館、ポンプ棟及び自家発電棟1階 平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



電気機械室定期清掃



委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	5/29
図名	金沢水再生センター本館地下平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



電気機械室定期清掃



窓ガラス清掃1



窓ガラス清掃2



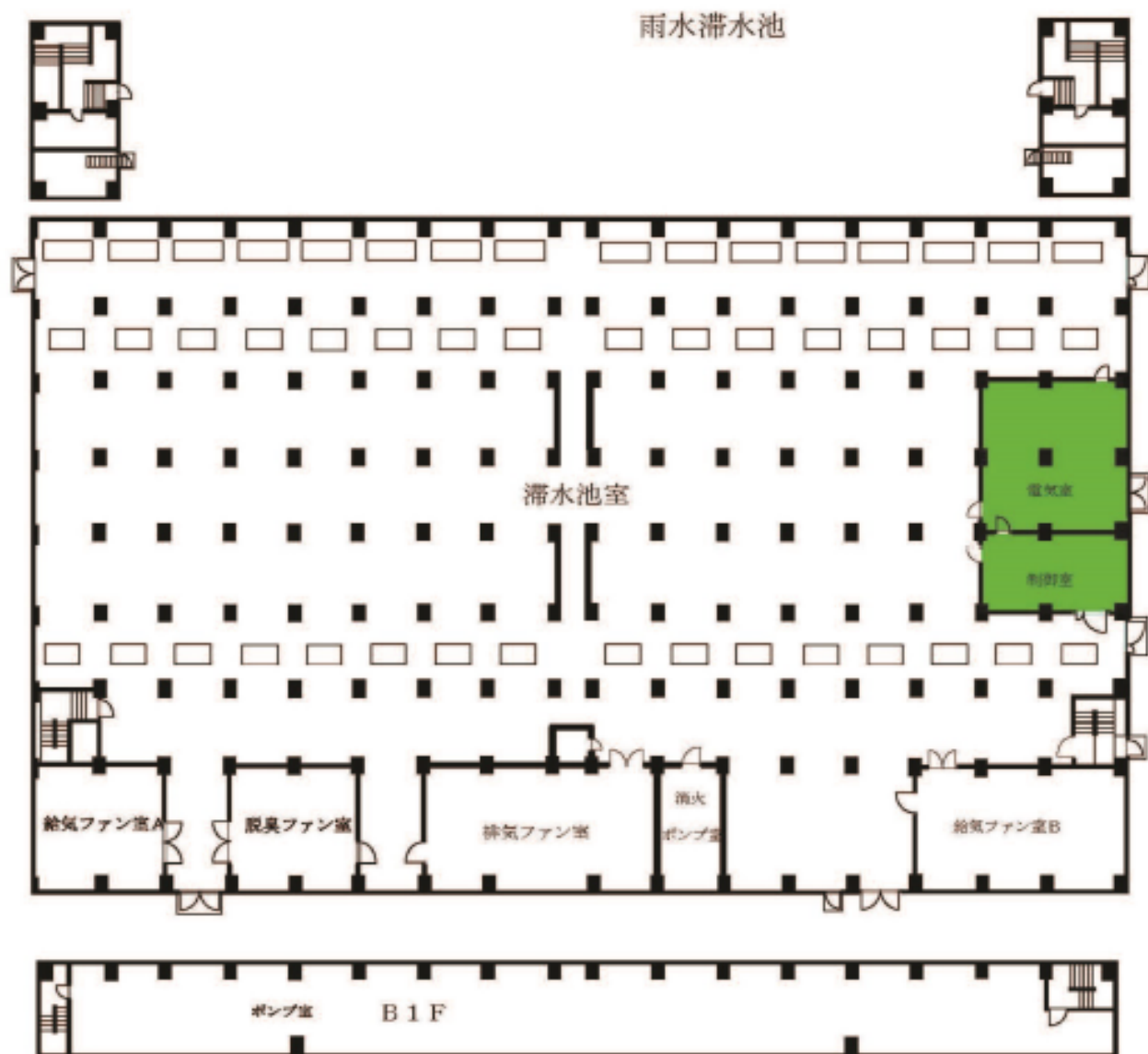
窓ガラス清掃2（内部）



滅菌施設



委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	6/29
図名	金沢水再生センター第1・第2・第3電気室及び滅菌ろ過電気室平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



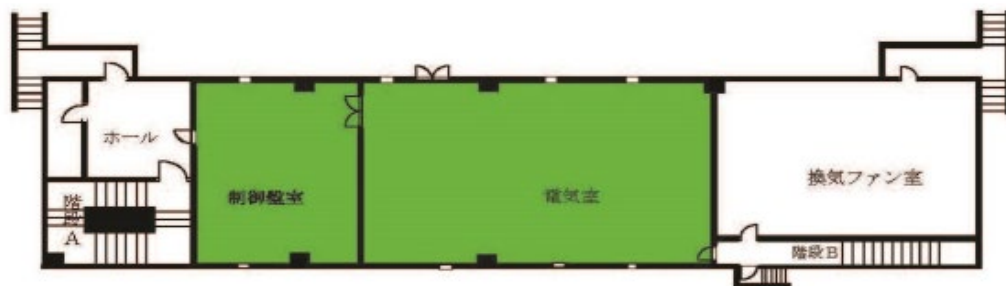
電気機械室定期清掃



委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	7/29
図名	金沢水再生センター雨水滞水池平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

汚泥貯留棟

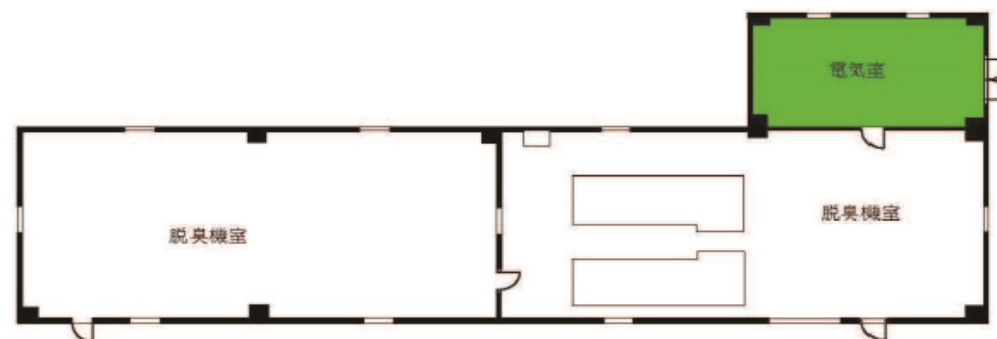
1 F



B 1 F



汚泥脱臭機棟



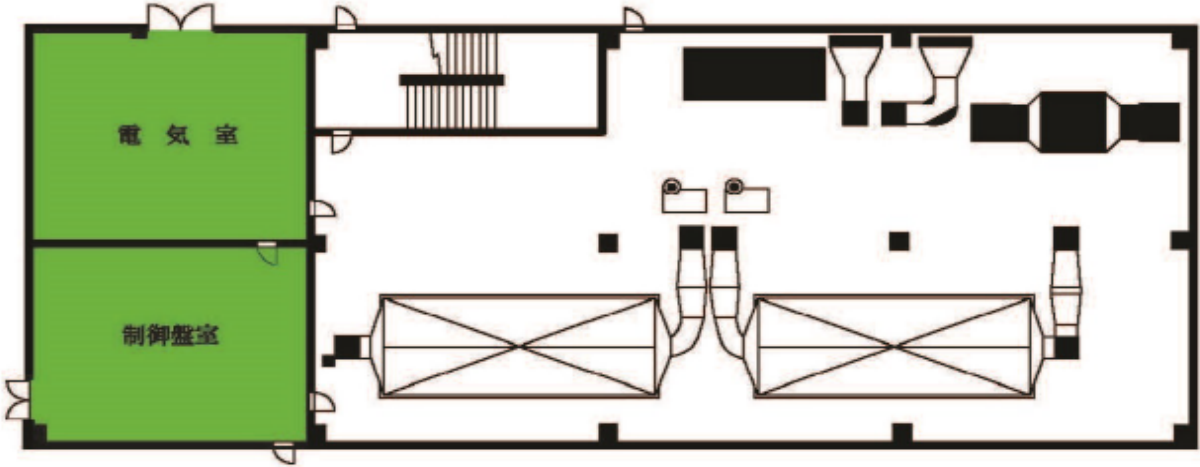
電気機械室定期清掃



委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	8/29
図名	金沢水再生センター汚泥貯留棟及び汚泥脱臭機棟平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

最初沈殿池脱臭機棟

電気機械室定期清掃

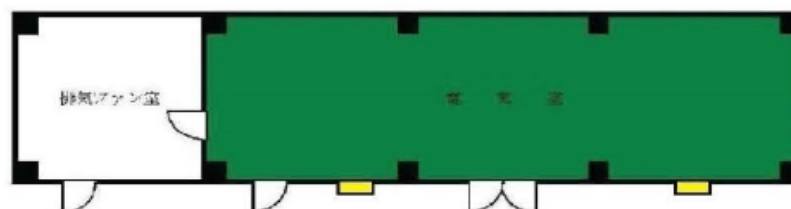


委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	9/29
図名	金沢水再生センター最初沈殿池脱臭機棟平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

第1 A池電気室



第2 A池電気室



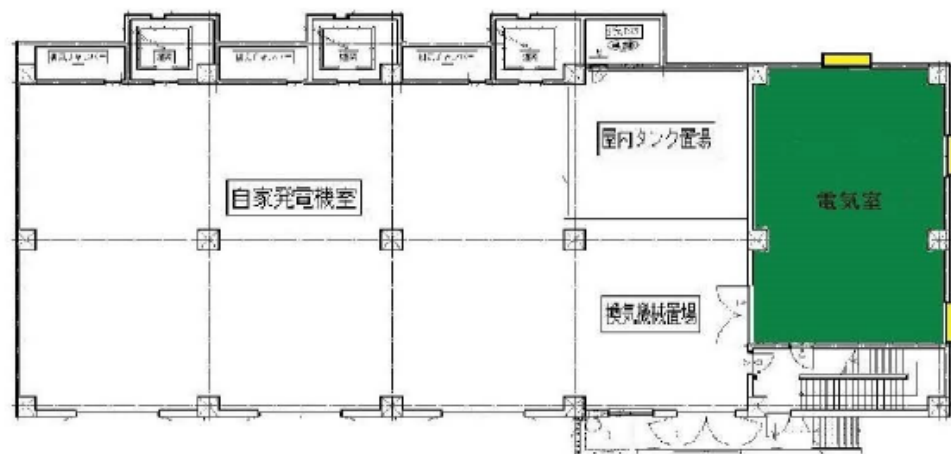
電気機械室定期清掃



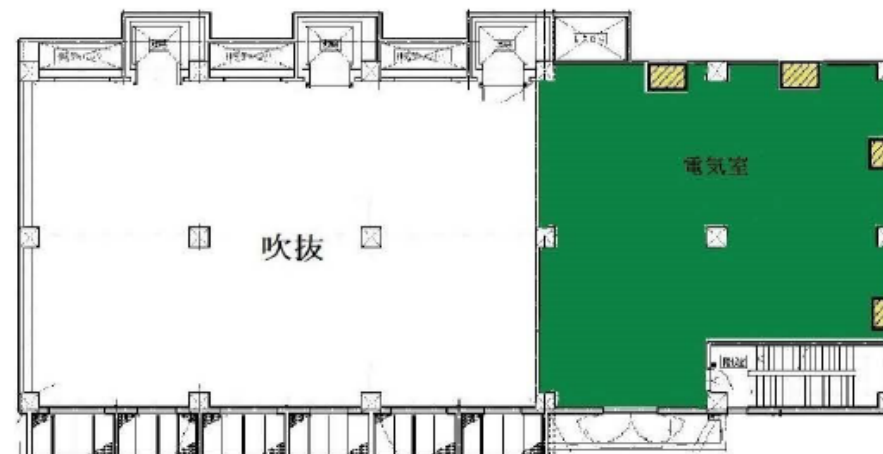
窓ガラス清掃1



窓ガラス清掃1 (内部)



自家発棟2 1階

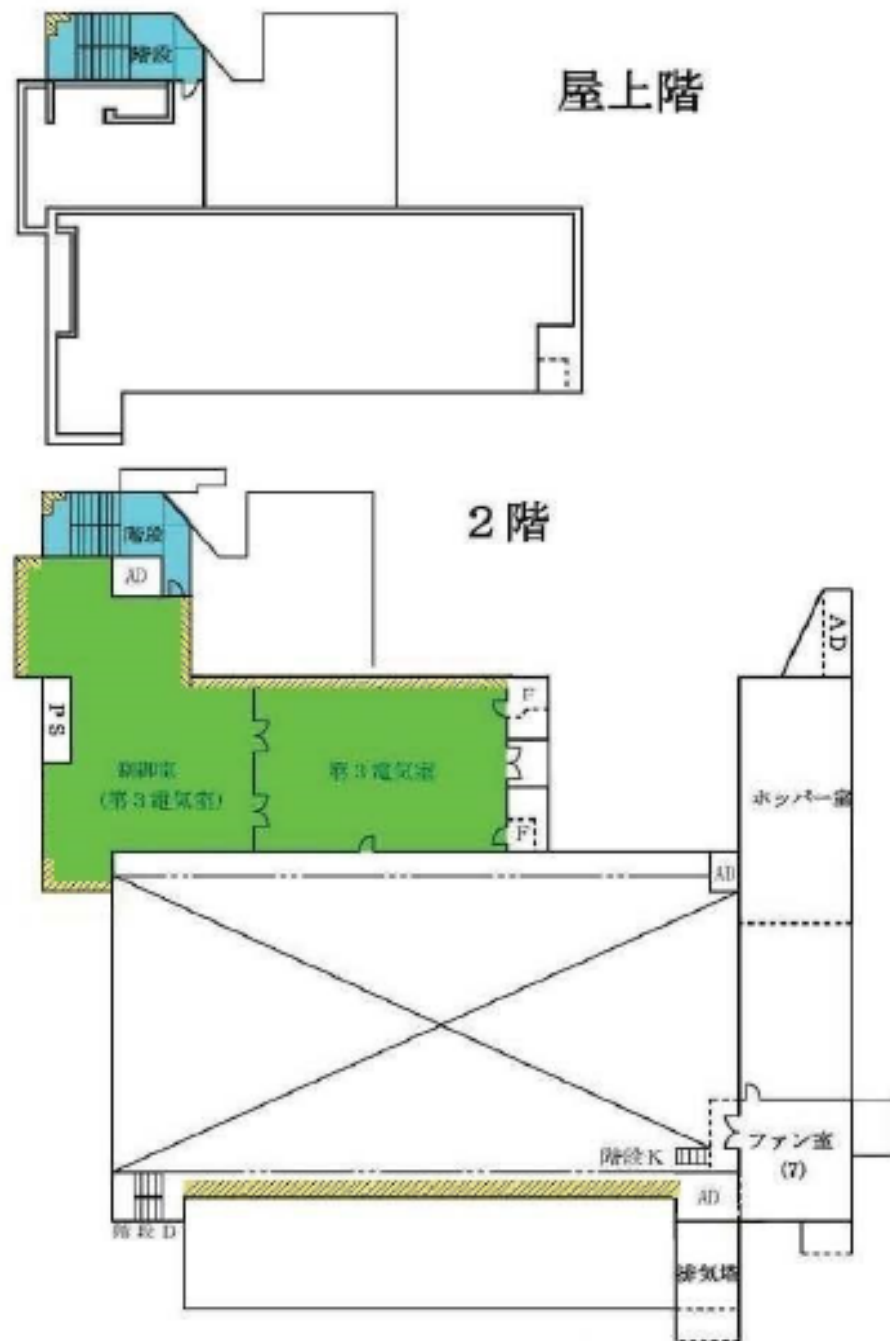


自家発棟2 2階

委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	10/29
図名	金沢水再生センター第1A・第2A電気室、自家発棟2平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

屋上階

2階



定期清掃1



定期清掃2



電気機械室定期清掃



窓ガラス清掃1



窓ガラス清掃1 (内部)



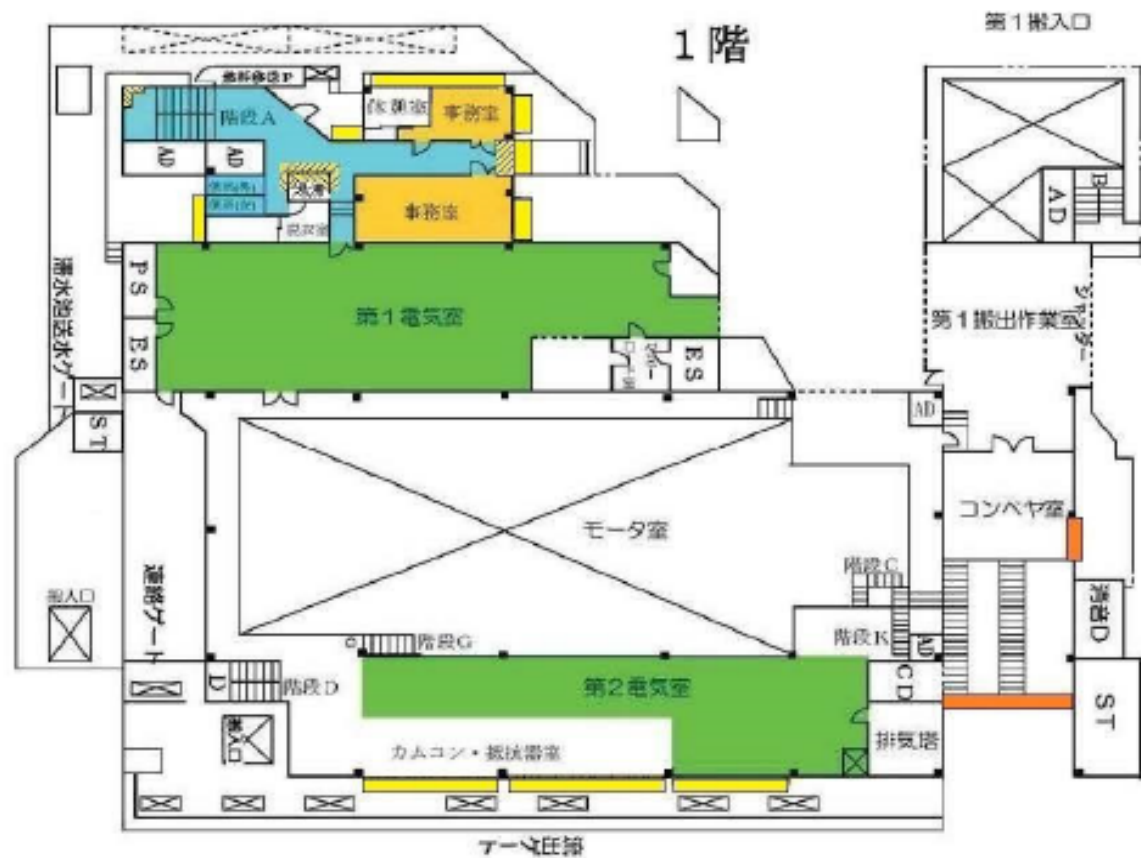
内部で両面の場合



窓ガラス清掃2

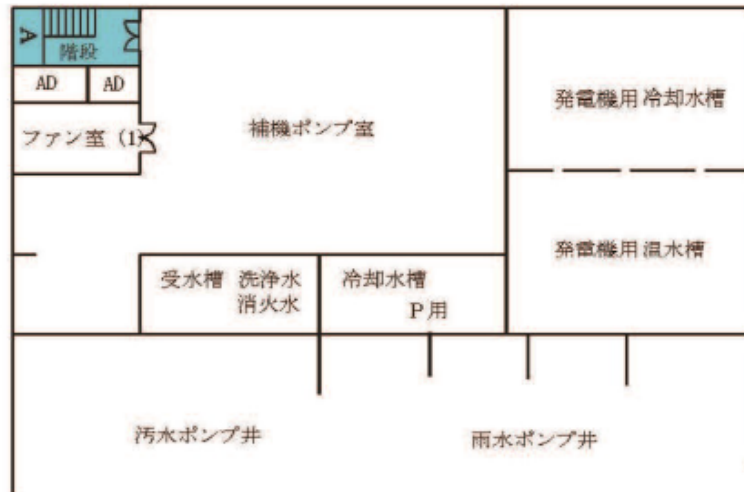


1階

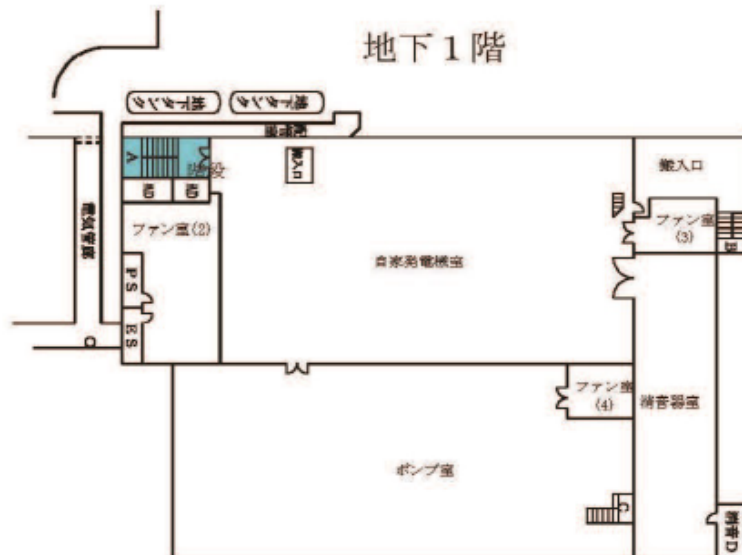


委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	11/29
図名	金沢ポンプ場本館平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

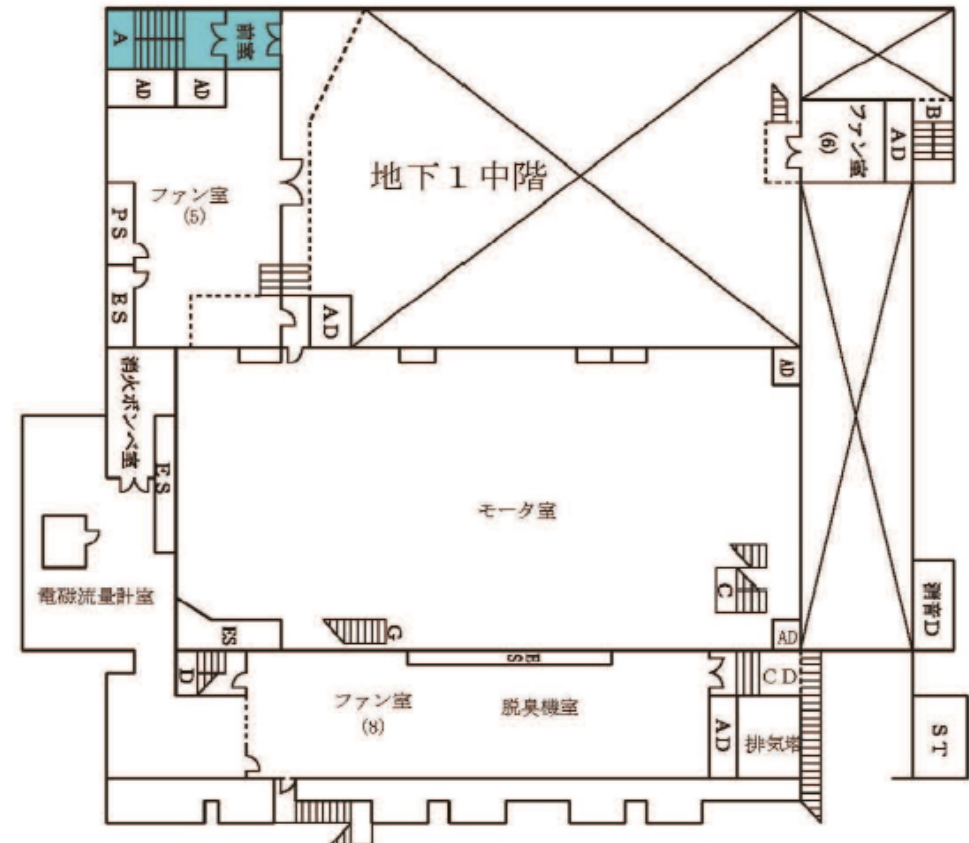
地下2階



地下1階



定期清掃1

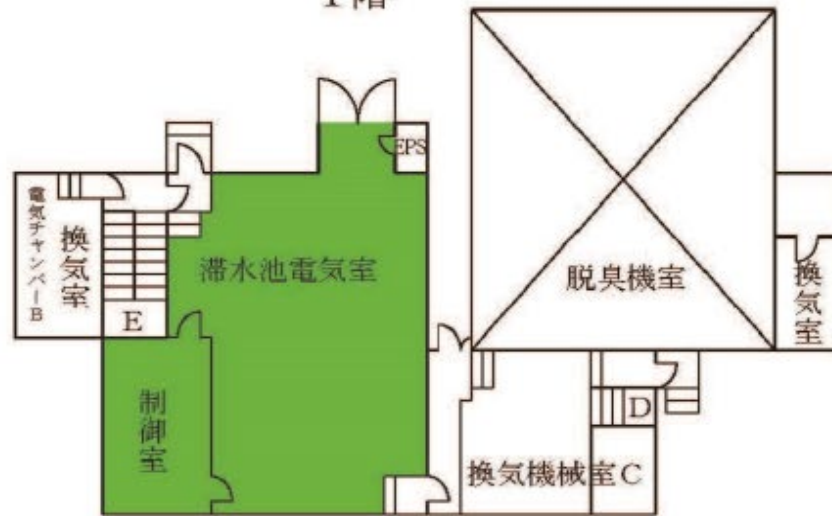


委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	12/29
図名	金沢ポンプ場本館地下平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

電気機械室定期清掃

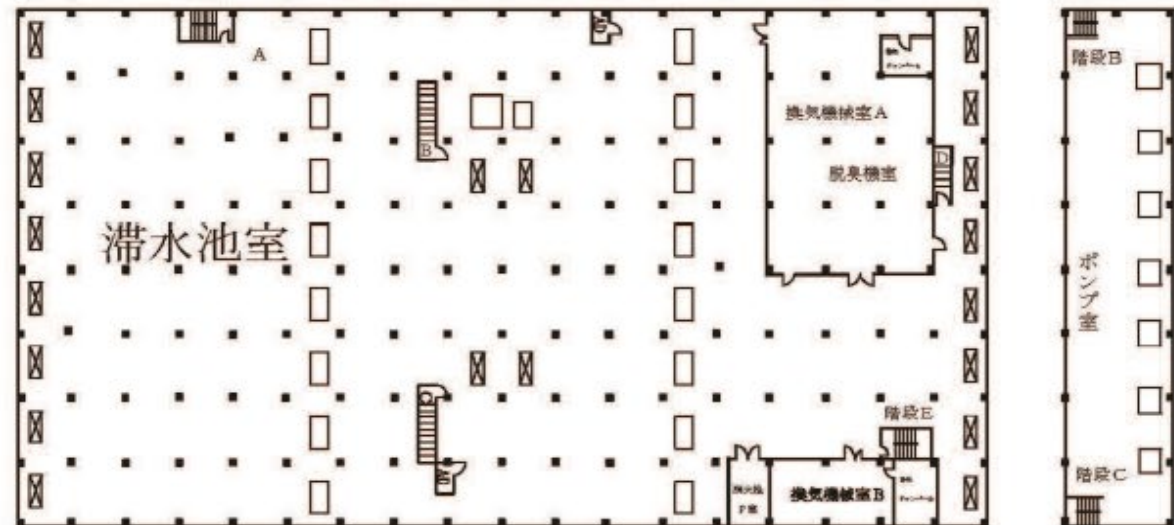


1 階

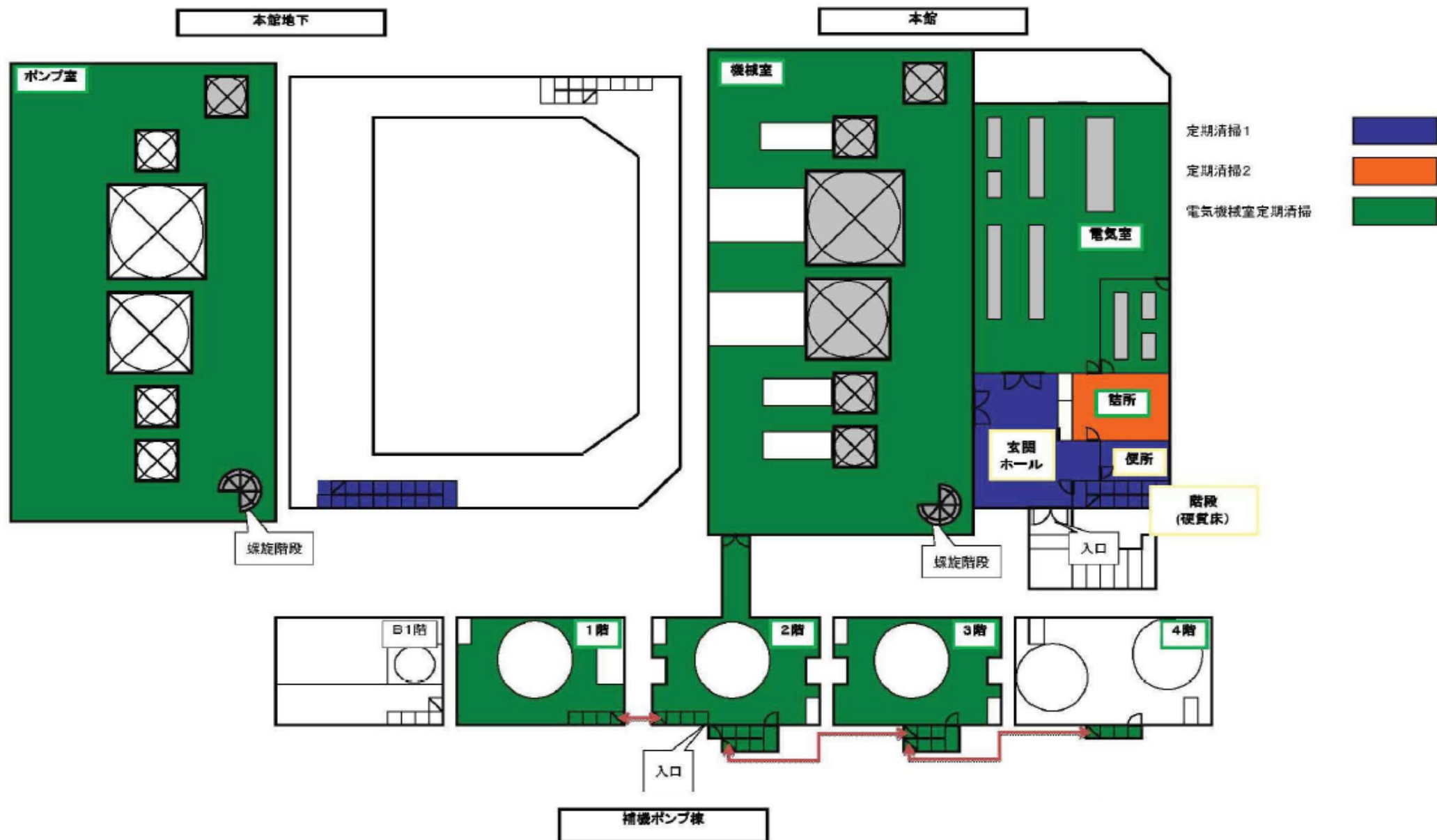


地下 1 階

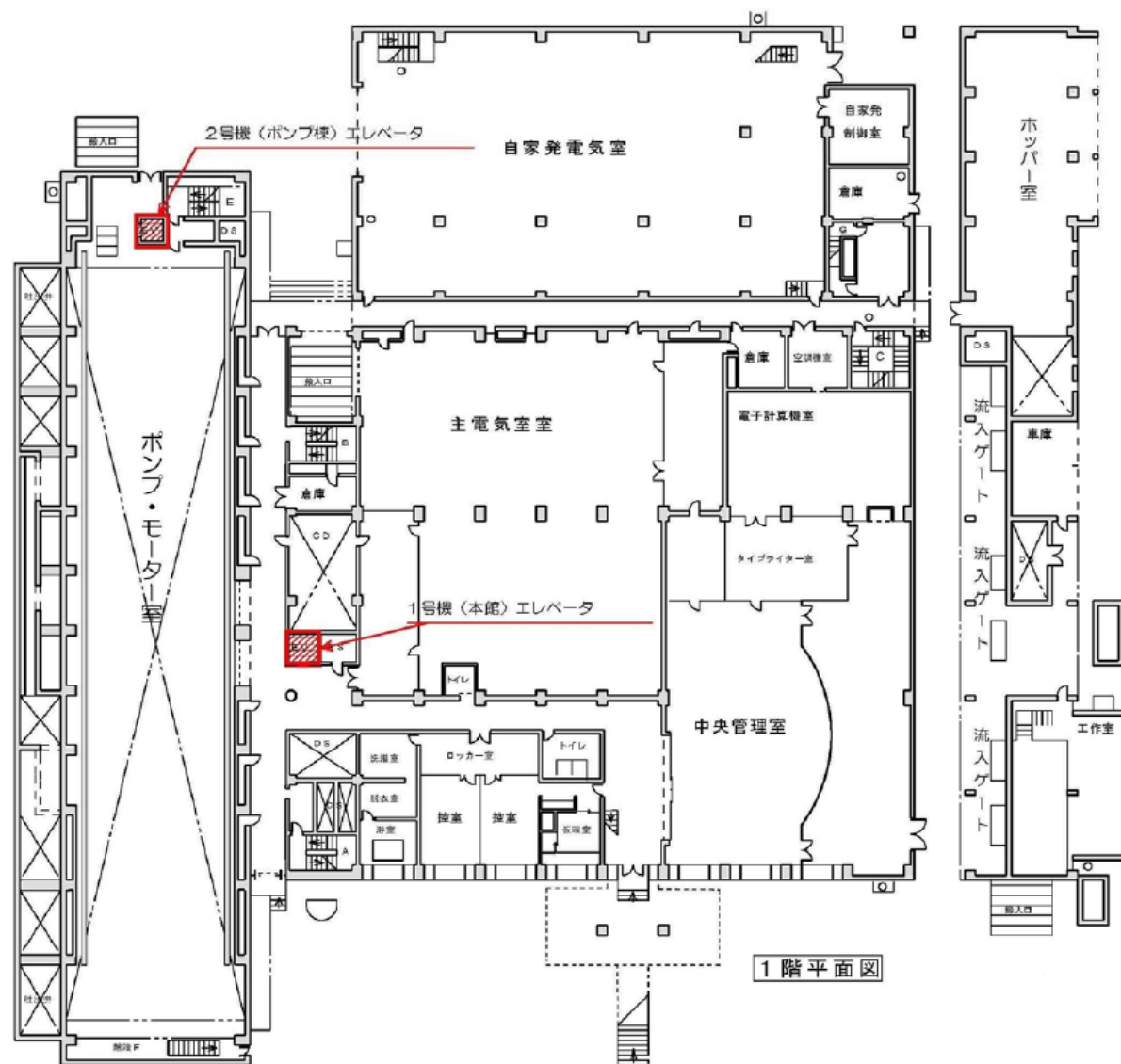
地下 2 階



委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	13/29
図名	金沢ポンプ場雨水滞水池平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

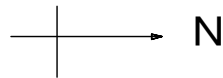


委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理業務委託	図番	14/29
図名	六浦ポンプ場本館、補機ポンプ棟平面図(庁舎清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



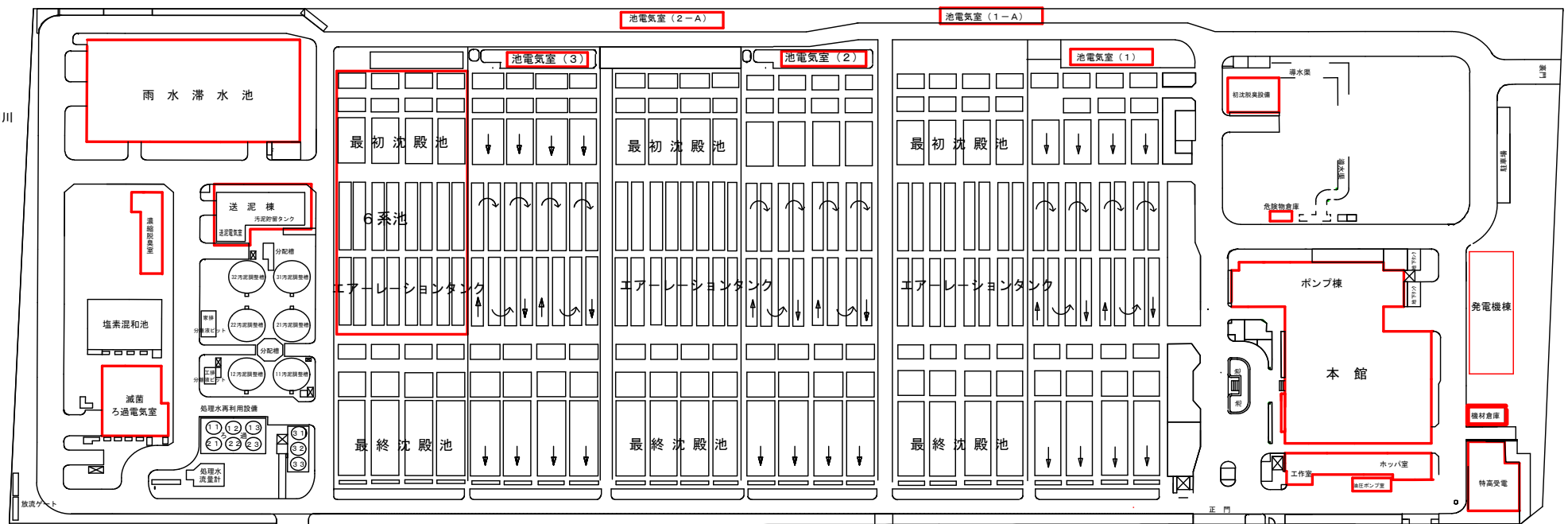
: 着色部は施工範囲を示す

工事名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	16/29
図名	エレベータ配置図(エレベータ設備保守点検業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



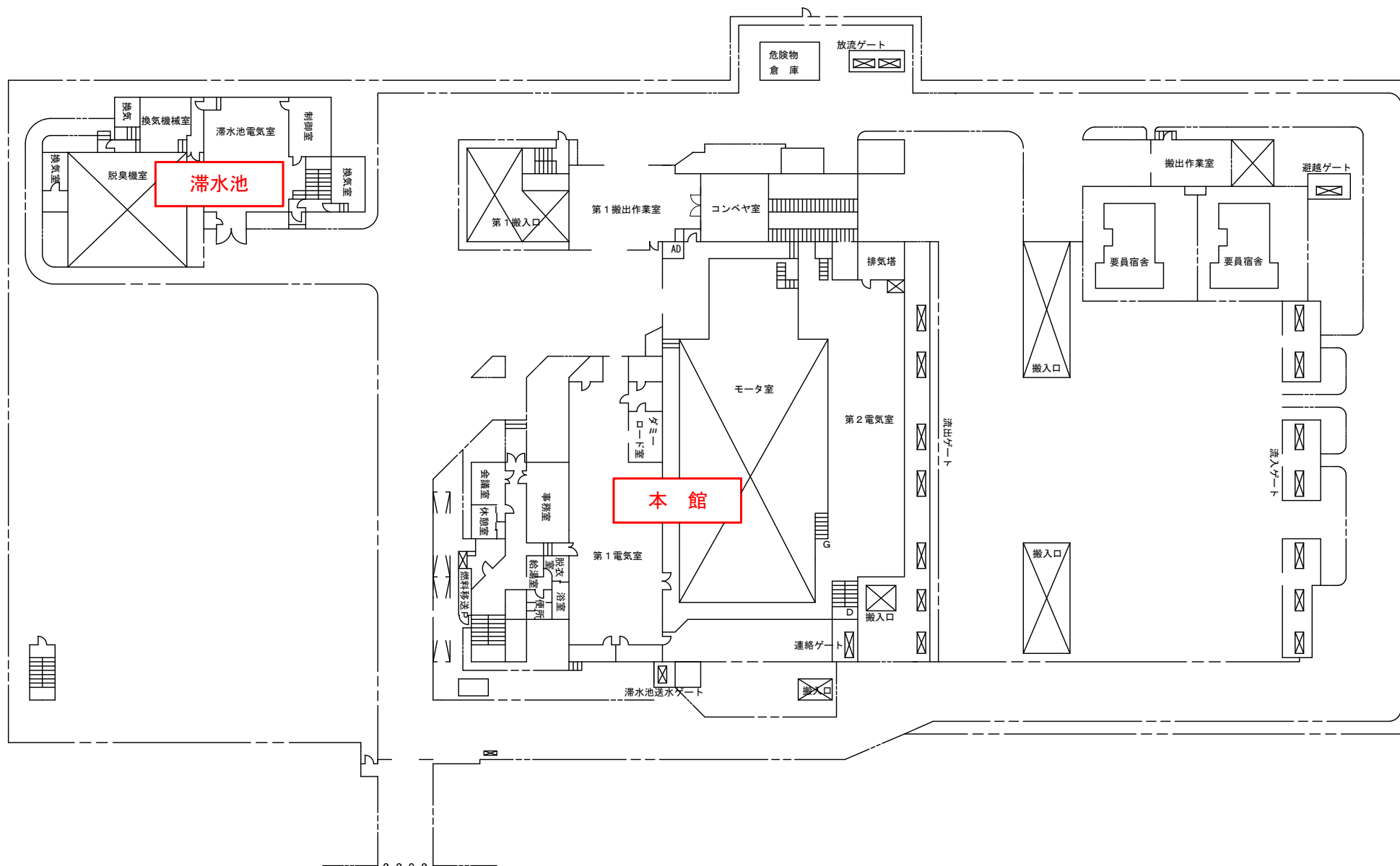
東京湾環状道路

富岡川



着色部分は履行範囲を示す

件名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	17/29
図名	金沢水再生センター平面図(防災設備保守点検業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



着色部分は履行範囲を示す

件名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	18/29
図名	金沢ポンプ場平面図(防災設備保守点検業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



六浦ポンプ場宿舍

注水タンク室

渡廊下

機械室

便所

詰所

六浦ポンプ場

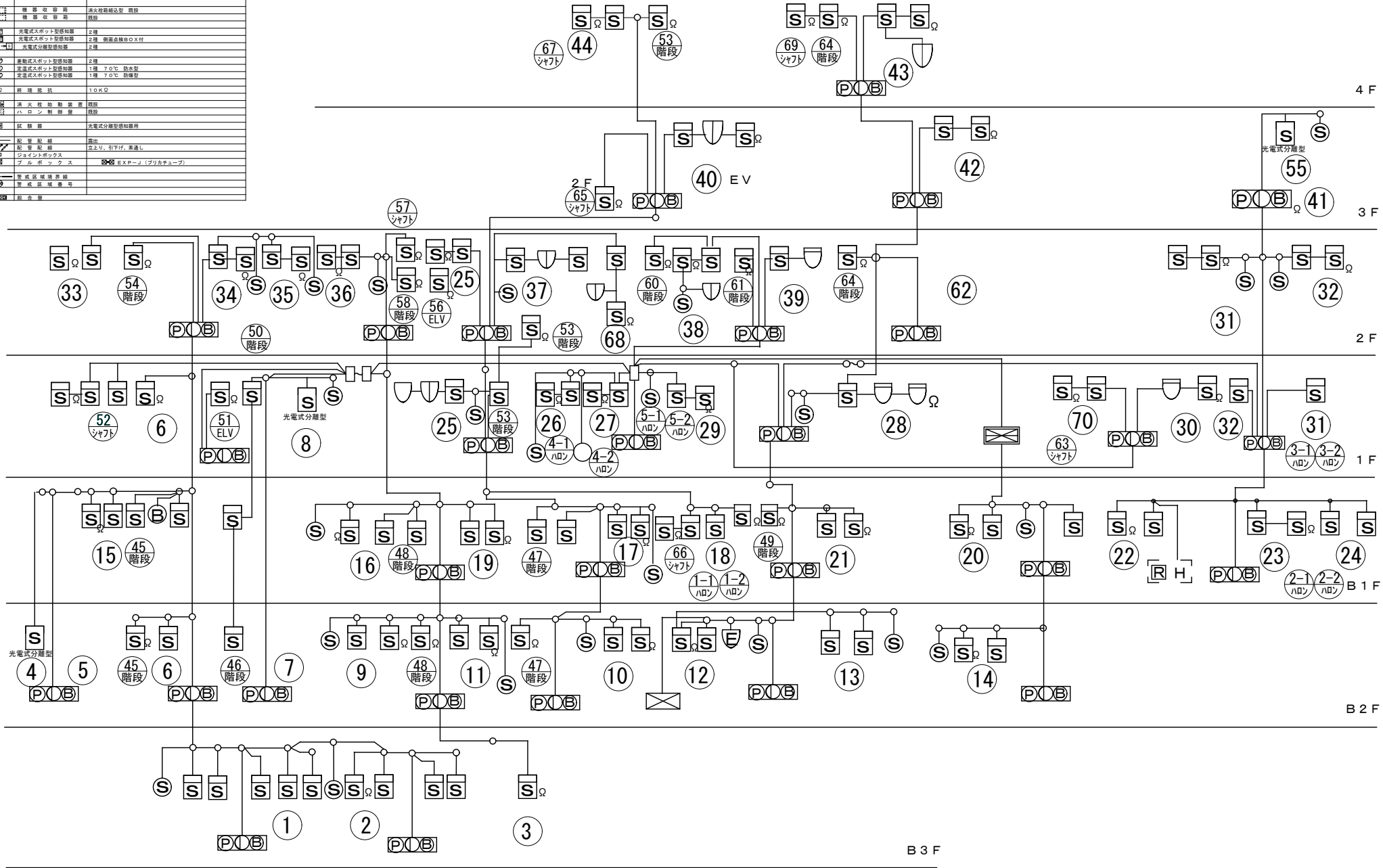
電気室

沈砂池吹抜

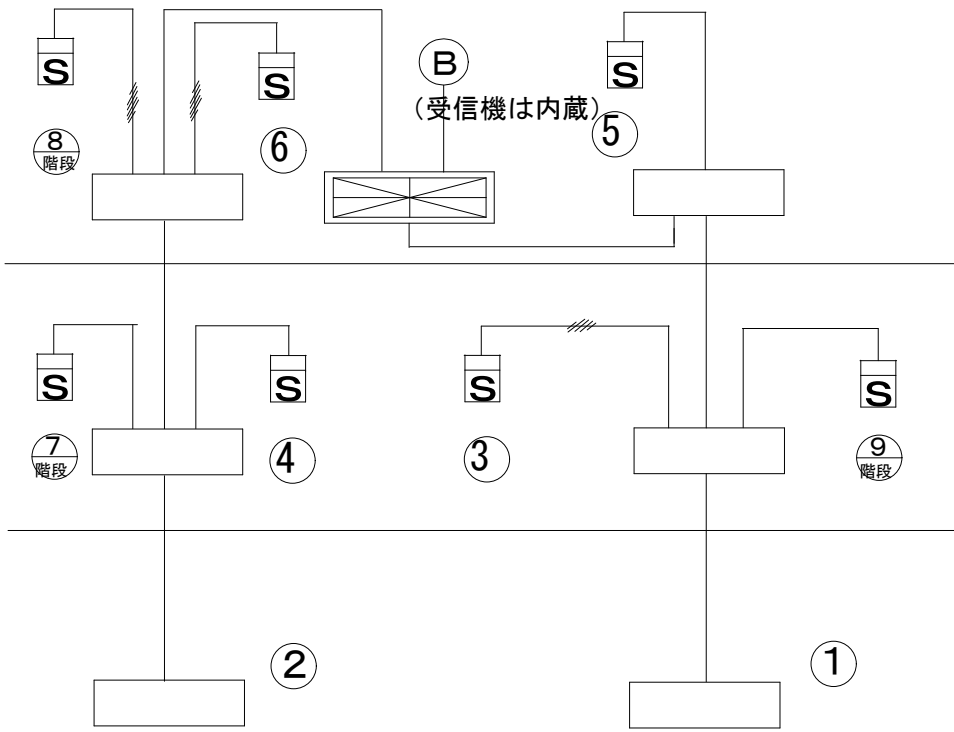
着色部分は履行範囲を示す

件名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	19/29
図名	六浦ポンプ場平面図(防災設備保守点検業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

記号	名 称	説 明	備 考
11111	火 災 警 報 機	機 設	
22222	機 器 収 容 部	消火栓設置品型 既設	
33333	機 器 収 容 部	機 設	
44444	光電式ホット型感知器	2線	
55555	光電式ホット型感知器	2線	両面点検ボックス付
66666	光電式分離型感知器	2線	
77777	熱動式ホット型感知器	2線	
88888	定温式ホット型感知器	1線	7.0℃ 放水型
99999	定温式ホット型感知器	1線	7.0℃ 防煙型
00000	熱 線 探 検 機	10KΩ	
11111	消 火 栓 防 動 機 置	機 設	
22222	ハ ロ ン 機 置	機 設	
33333	試 験 機	光電式分離型感知器用	
44444	配 管 配 線	露出	
55555	配 管 配 線	立上り、引下げ、差渡し	
66666	シャイントボックス		
77777	ブ ル ボ ッ ク ス	※E X P E R - J (プ リ カ チ ュ ー)	
88888	管 束 区 域 境 界 線		
99999	管 束 区 域 界 限		
00000	総 合 線		



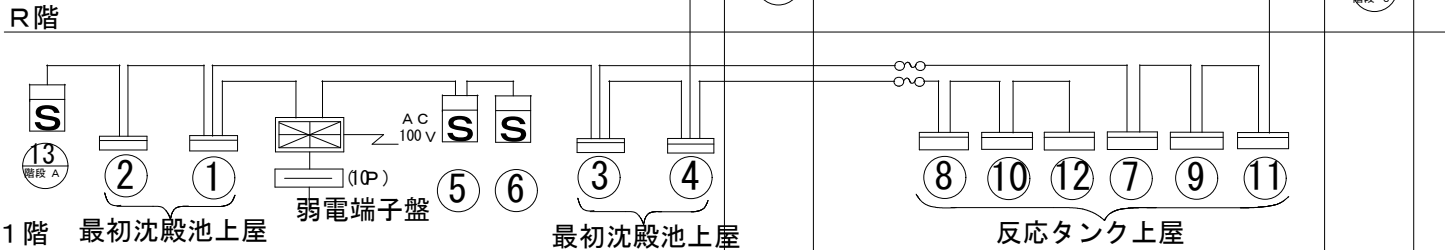
池（3）自動火災報知設備



記号	名 称	記 事
	受信機	P 型 1 級
	発信器	P 型 1 級、2 級
	表示灯	
	電 鈴	
	煙感知器	光電式
	機器収納箱	(P L B) 内蔵

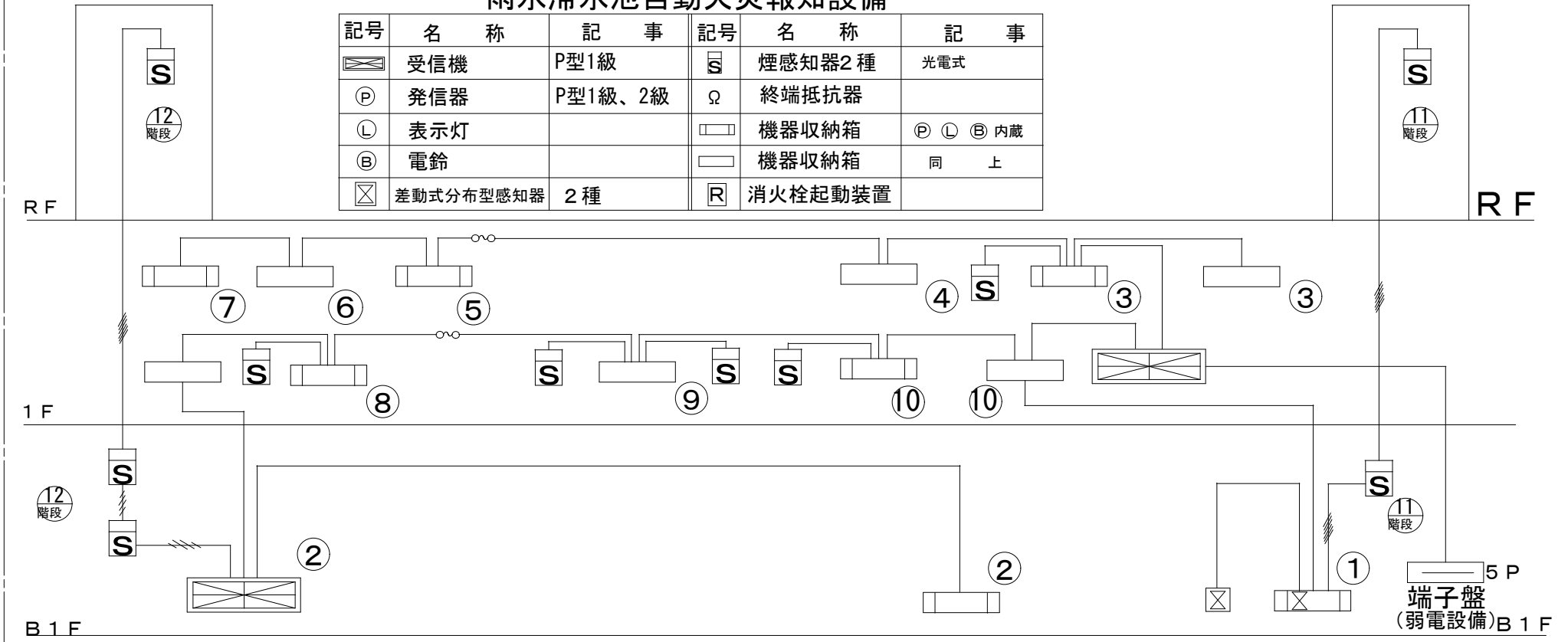
初沈脱臭設備自動火災報知設備

記号	名 称	記 事
	受信機	P 型 1 級
	発信器	P 型 1 級、2 級
	表示灯	
	電 鈴	
	煙感知器 2 種	光電式
	終端抵抗器	
	機器収納箱	(P L B) 内蔵



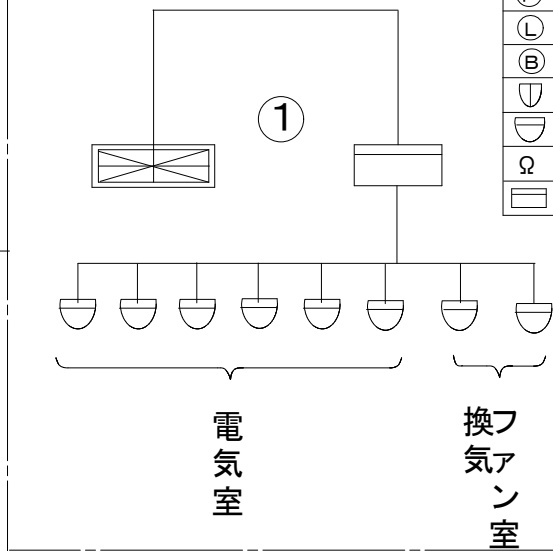
管理本館受信機へ移報

雨水滞水池自動火災報知設備



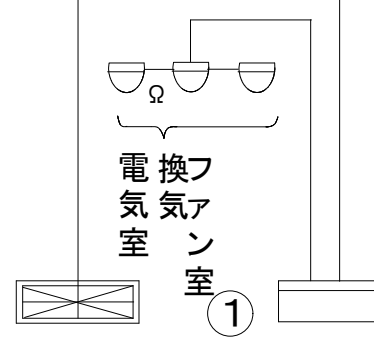
記号	名 称	記 事	記号	名 称	記 事
	受信機	P型1級		煙感知器2 種	光電式
	発信器	P型1級、2級		終端抵抗器	
	表示灯			機器収納箱	(P L B) 内蔵
	電 鈴			機器収納箱	同 上
	差動式分布型感知器	2 種		消火栓起動装置	

池（2 A）自動火災報知設備



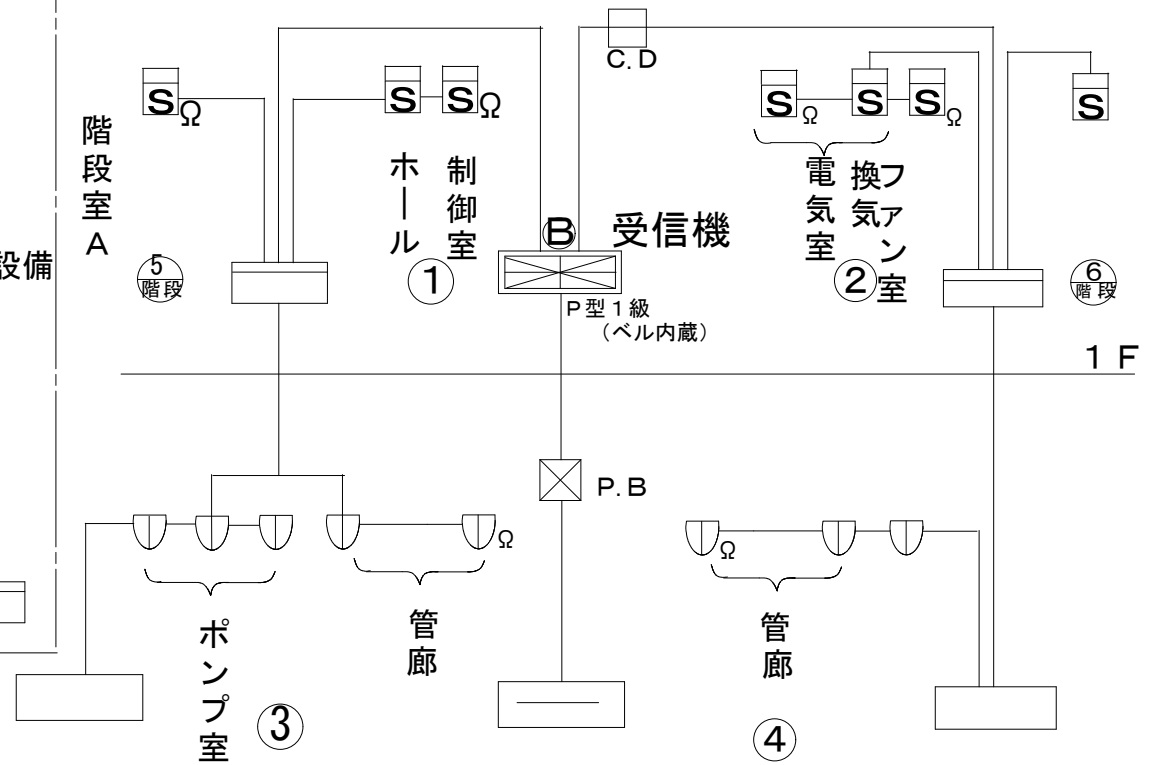
記号	名 称	記 事
	受信機	P 型 2 級
	発信器	P 型 1 級、2 級
	表示灯	
	電 鈴	
	定温式スポット型感知器	2 種 非蓄積
	差動式スポット型感知器	2 種 非蓄積
	Ω 終端抵抗器	
	機器収納箱	(P L B) 内蔵

池（1 A）自動火災報知設備

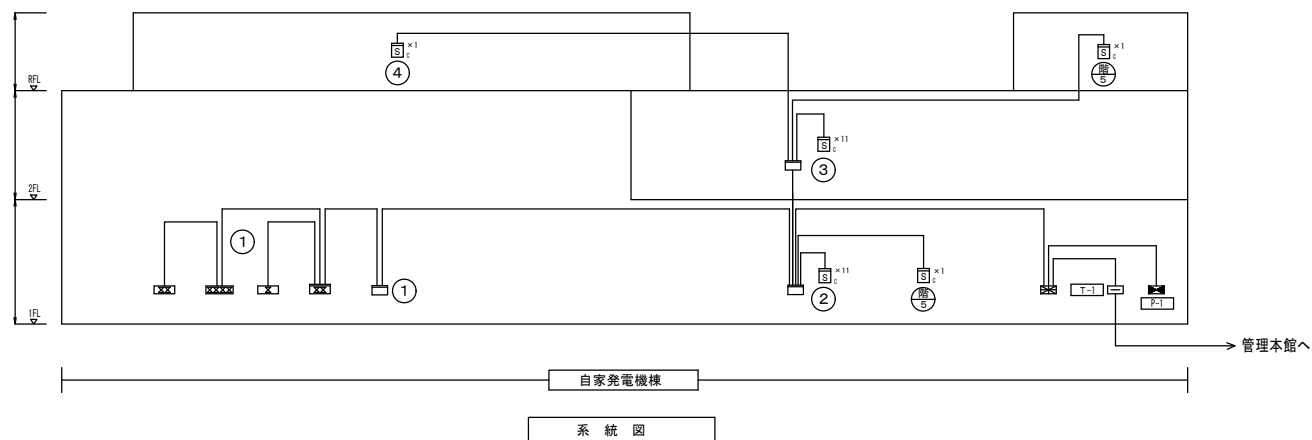


記号	名 称	記 事
	受信機	P 型 1 級
	発信器	P 型 1 級、2 級
	表示灯	
	電 鈴	
	煙感知器	光電式
	定温式スポット型感知器	1 種
	Ω 終端抵抗器	
	機器収納箱	(P L B) 内蔵

汚泥貯留設備自動火災報知設備



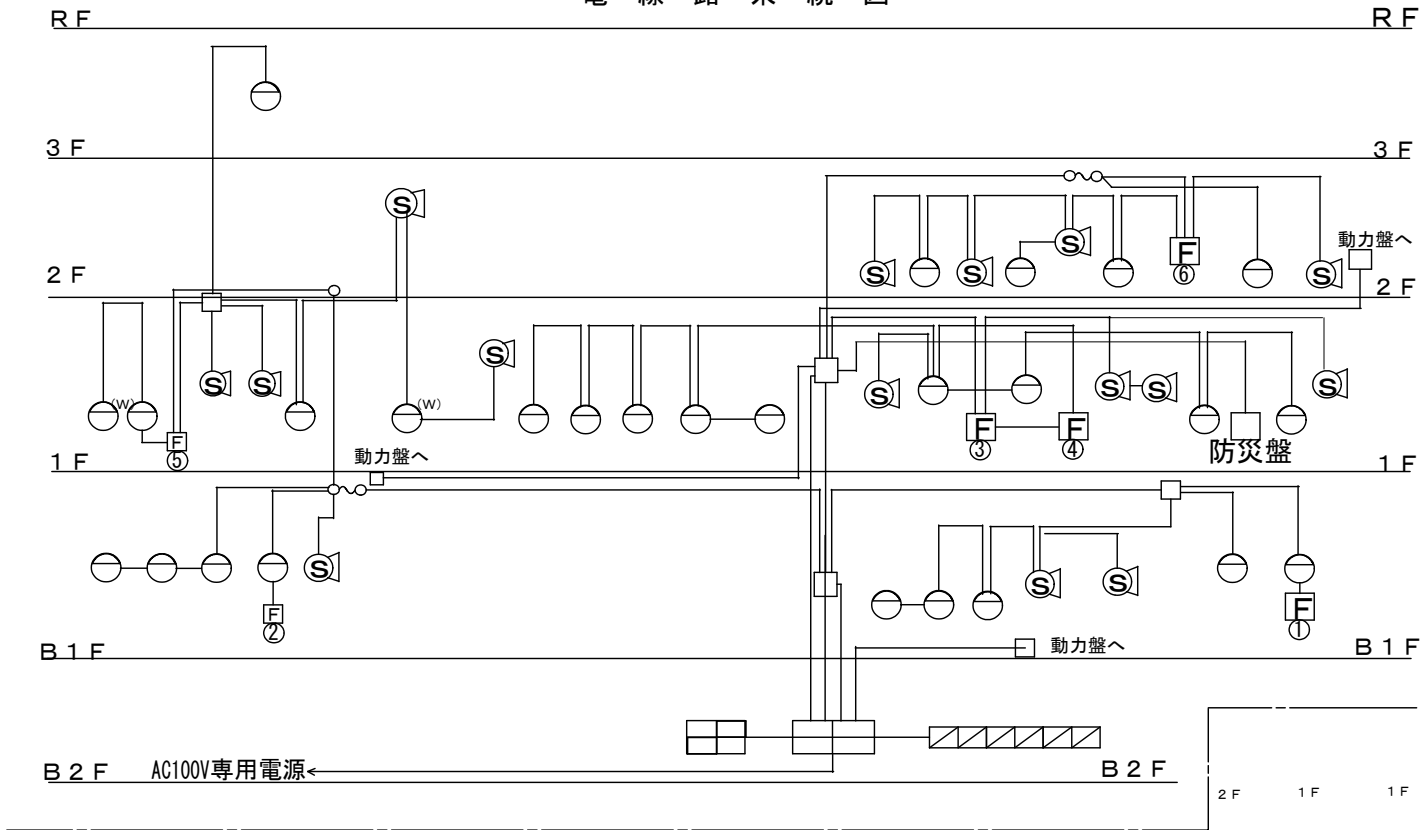
件 名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	22/29
図 名	金沢水再生センター自火報系統図（本館、発電機棟以外）（防災設備保守点検業務）	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



凡 例			
記 号	名 称	備 考	
受信機	P型1級	壁掛形	
端子盤			
動力制御盤			
発信機	P型1級		
リング型表示灯	AC・DC24V LED式		
ベル	DC24V		
終端器	ベル用		
総合盤	②③ 收容		
作動式分布型感知器	2種 4個用 露出		
作動式分布型感知器	2種 2個用 露出		
作動式分布型感知器	2種 1個用 露出		
光電式スポット型感知器	2種		
終端器	10kΩ		
—	自火報警区域線		
④	自火報警区域番号	平面区画	
⑤	自火報警区域番号	階段	
—	配管配線		

件 名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	23/29
図 名	発電機棟自火報系統図(防災設備保守点検業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

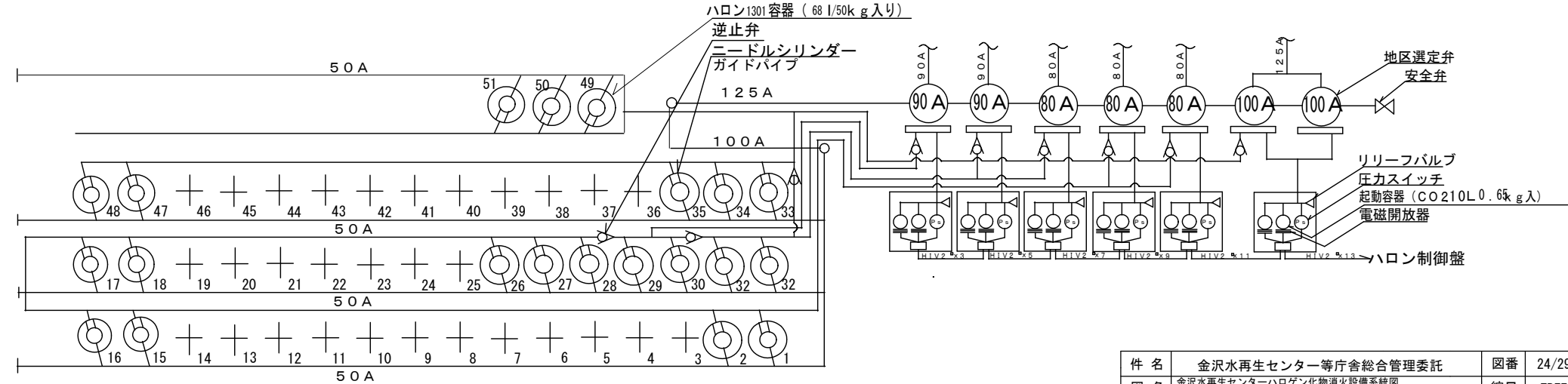
電 線 路 系 統 図



防 護 区 画 名

- 1 電気室
- 2 配管室
- 3 中央管理室 電気計算機室
- 4 電気室
- 5 自家発電機室
- 6 電気室

記号	名 称	記 事
	総合操作盤	
	ハロン制御盤	音声警報装置組込
	操作窗	
	蓄電池設備	DC 24V 40AH
	起動装置	DS-25D
	ガス放出表示灯	
	ガス放出表示灯	防水型
	音声スピーカー	
	ダンパトリップ	自動復旧型
	同上復旧装置箱	
	逆止弁	
	定噴射ヘッド	25 A
	定噴射ヘッド	大型 (32A)
	定噴射ヘッド	天井型

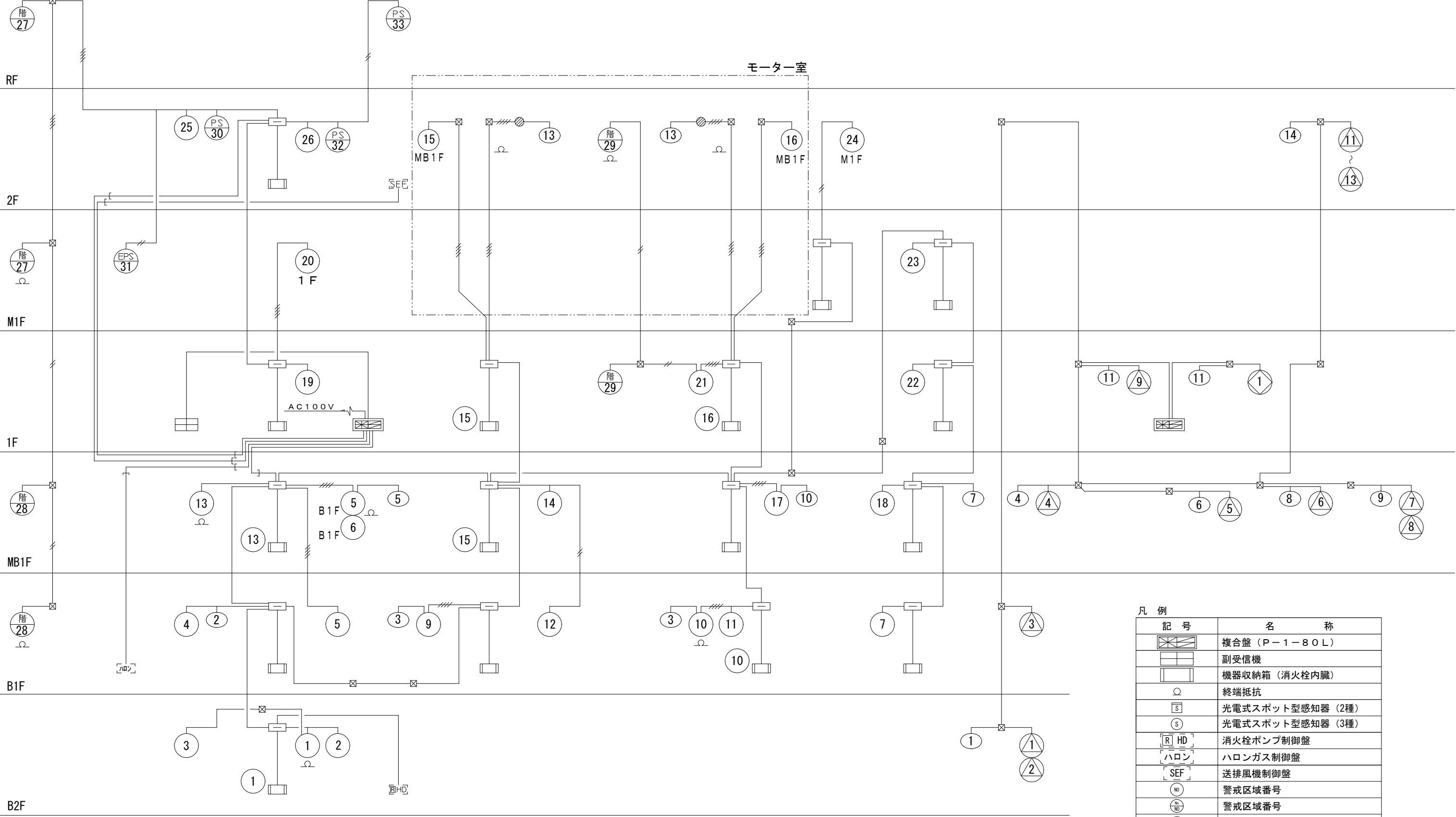


ハ ロ ン 容 器 配 管 系 統 図

件 名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	24/29
図 名	金沢水再生センターハロゲン化物消火設備系統図 (防災設備保守点検業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			

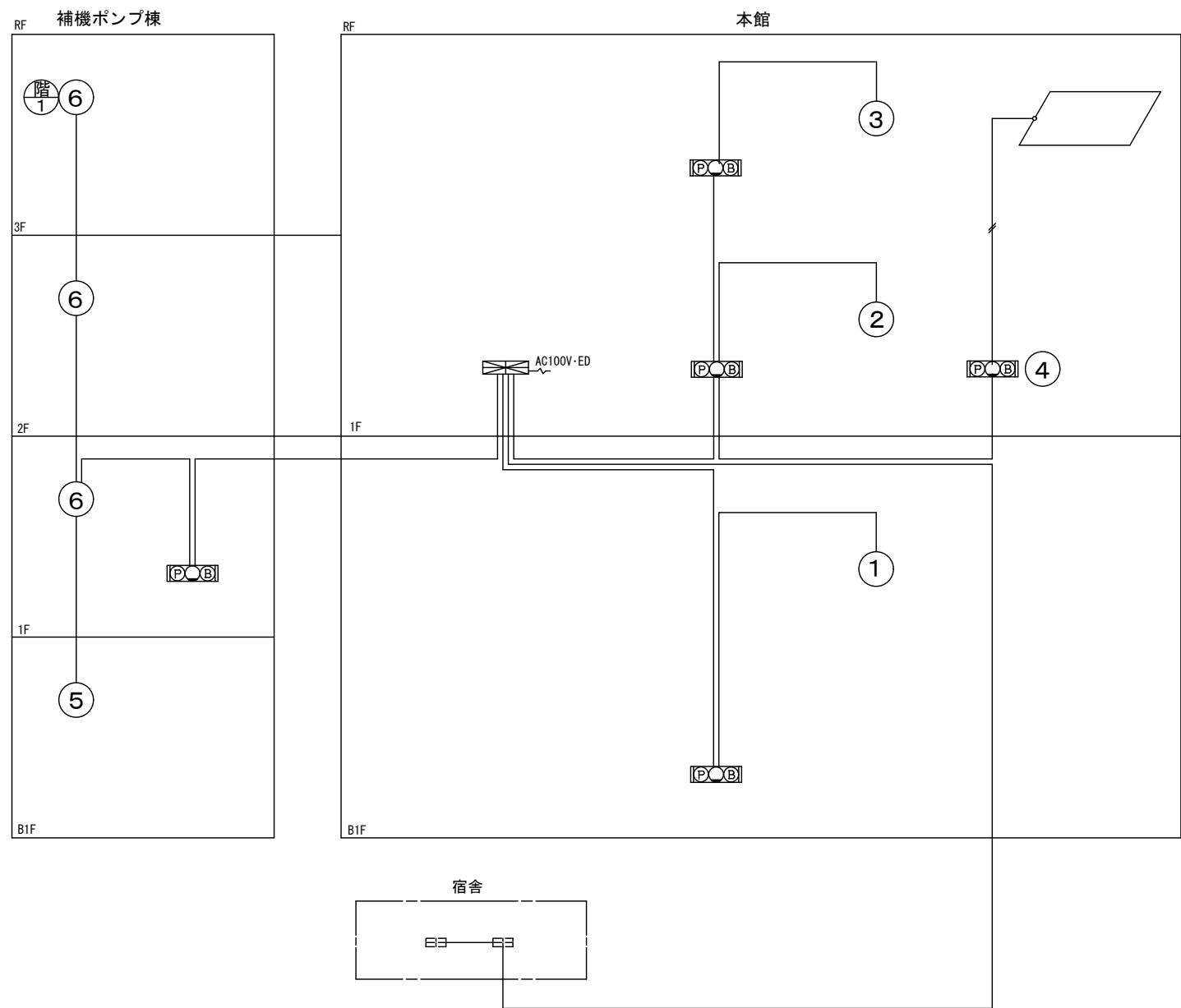
自火報系統図

防排煙系統図

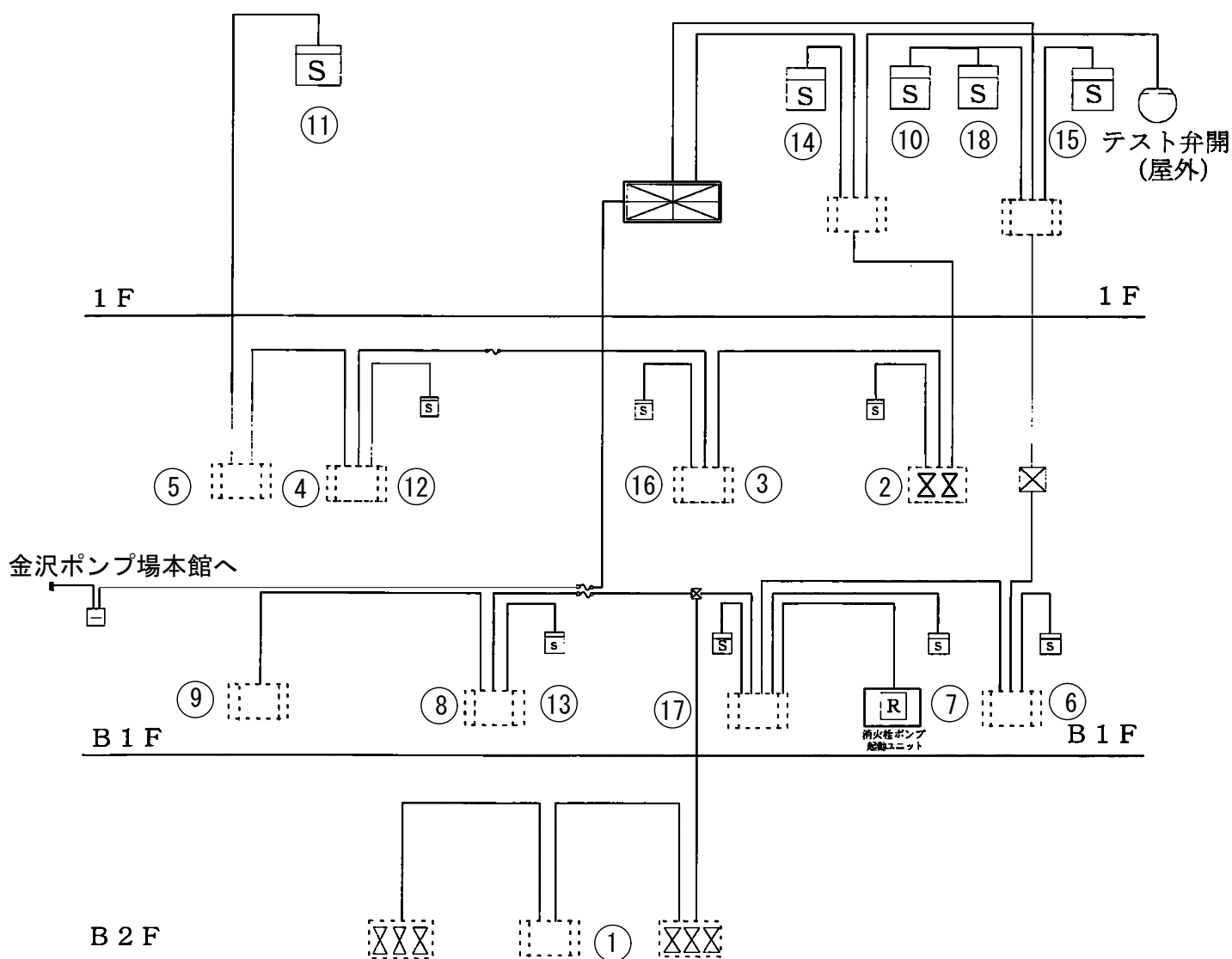


凡 例	
記 号	名 称
	複合盤（P－1－80L）
	副受信機
	機器収納箱（消火栓内臓）
	終端抵抗
	光電式スポット型感知器（2種）
	光電式スポット型感知器（3種）
	消火栓ポンプ制御盤
	ハロンガス制御盤
	送排風機制御盤
	警戒区域番号
	警戒区域番号
	動作区域番号（専用感知器連動）
	動作区域番号（防火戸・防火シャッター）
	動作区域番号（防火ダンパ）

件 名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	25/29
図 名	金沢ポンプ場本館系統図(防災設備保守点検業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



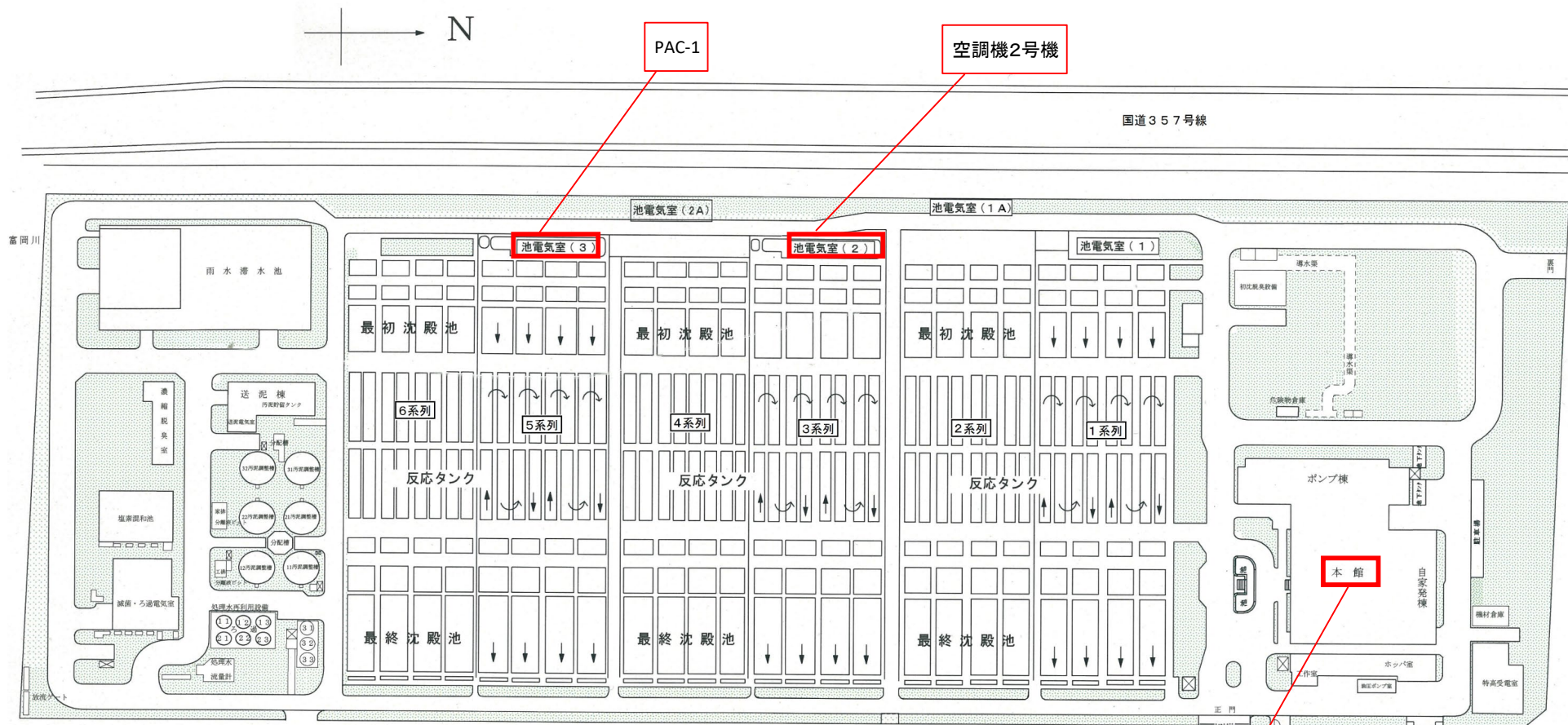
六浦ポンプ場系統図



金沢ポンプ場雨水滞水池系統図

凡		例
記号	名称	備考
	受信機	
	副受信機	
	機器収容箱	埋込型
	発信機	P型1級
	表示灯	AC24V 9mA LED
	電鈴	DC24V 10mA
	光電式スポット型感知器	2種 露出型
	差動式スポット型感知器	2種 露出型
	定温式スポット型感知器	1種 防水型 70℃
	定温式スポット型感知器	1種 防爆型 60℃
	終端器	
	差動式分布型感知器用検出部	2種 露出型 ボックス付
	空気管	自己支持型 2.0mm
	検出部への引込箇所	
	警戒区域番号	自火報用
	機器収容箱	

件名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	26/29
図名	金沢ポンプ場雨水滞水池、六浦ポンプ場系統図(防災設備保守点検業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



 は今回履行範囲を示す

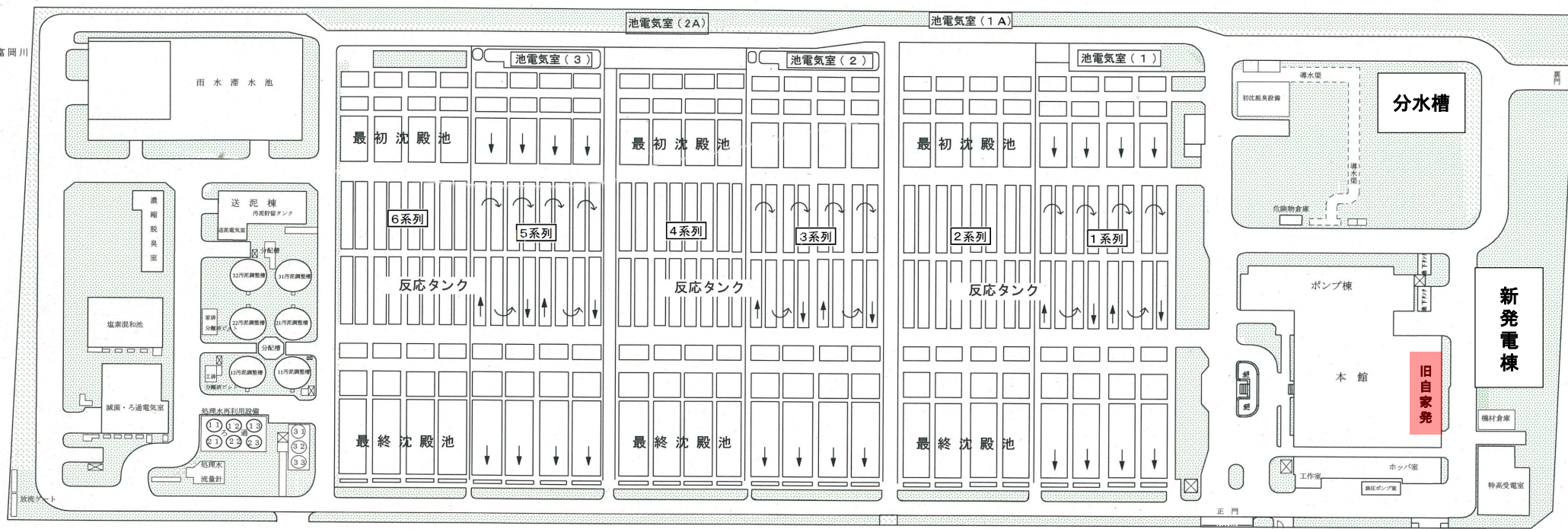
展示会議室ACP-2
No.41-1 空調機
No.41-2 空調機
水質空調機ACP-1
水質空調機ACP-2
中央EHP-1
MAC-1～5

委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	27/29
図名	全体平面図(空調機器定期点検業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



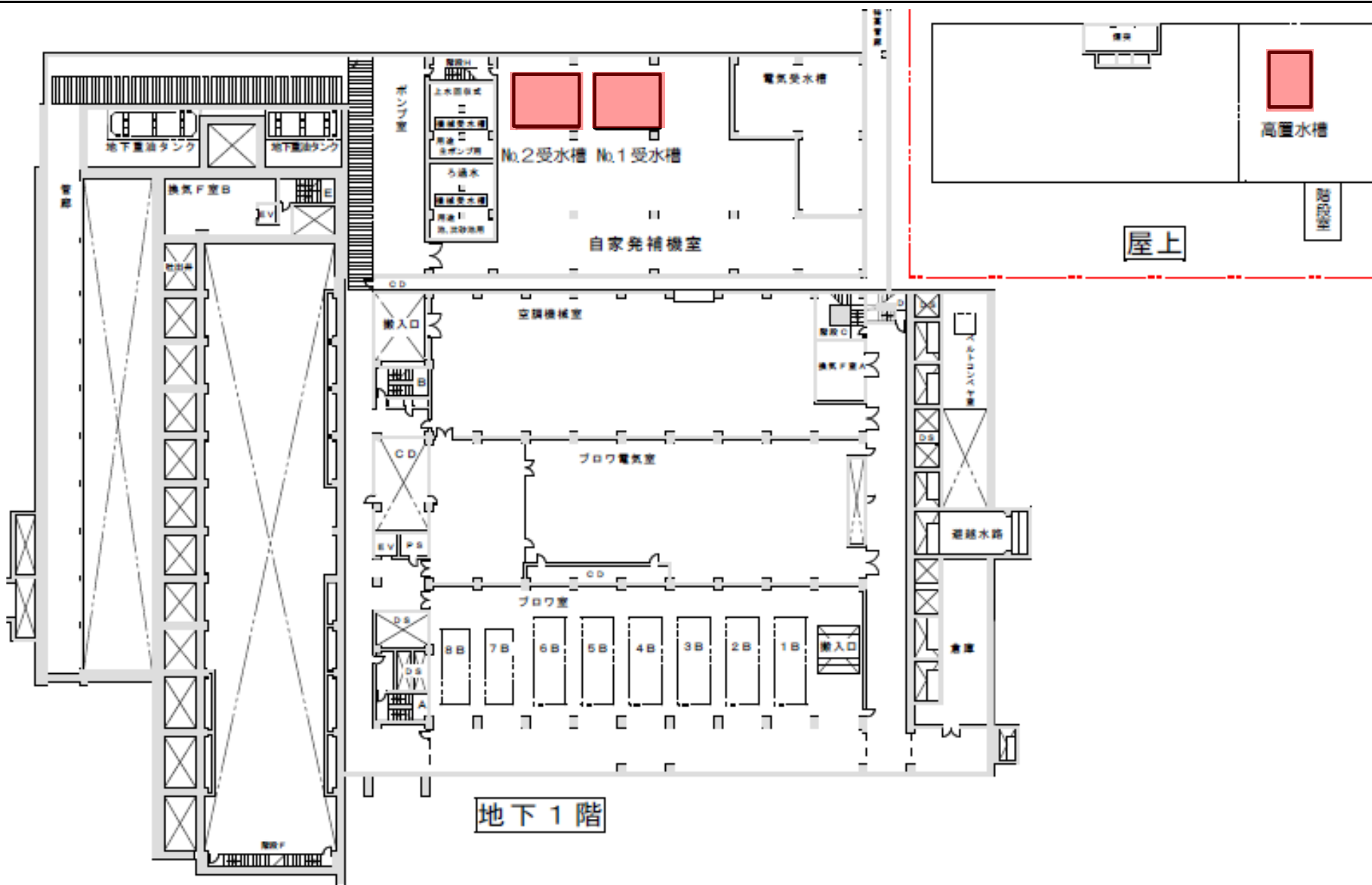
国道357号線

富岡川



着色部は今回の履行範囲を示す

委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	28/29
図名	全体平面図(飲料水用受水槽点検清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			



地下1階

: 着色部は今回の履行範囲を示す

委託名	金沢水再生センター等庁舎総合管理委託	図番	29/29
図名	旧自家発棟平面図(飲料水用受水槽点検清掃業務)	縮尺	FREE
横浜市下水道河川局南部下水道センター			